

2023年3月期 第2四半期 決算説明会

2022年11月11日

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（Arm Limitedを含み、以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

本資料には、Arm Limitedに関する記述が含まれています。これらの記述は、SBGの株主への情報提供のみを目的としたものであり、Arm Limitedが発行するあらゆる有価証券の販売又は購入の勧誘を目的としたものではありませんし、そのように解釈されるべきではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びバンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

環境認識を踏まえた戦略の方向性

守りの成果('22年9月末時点)

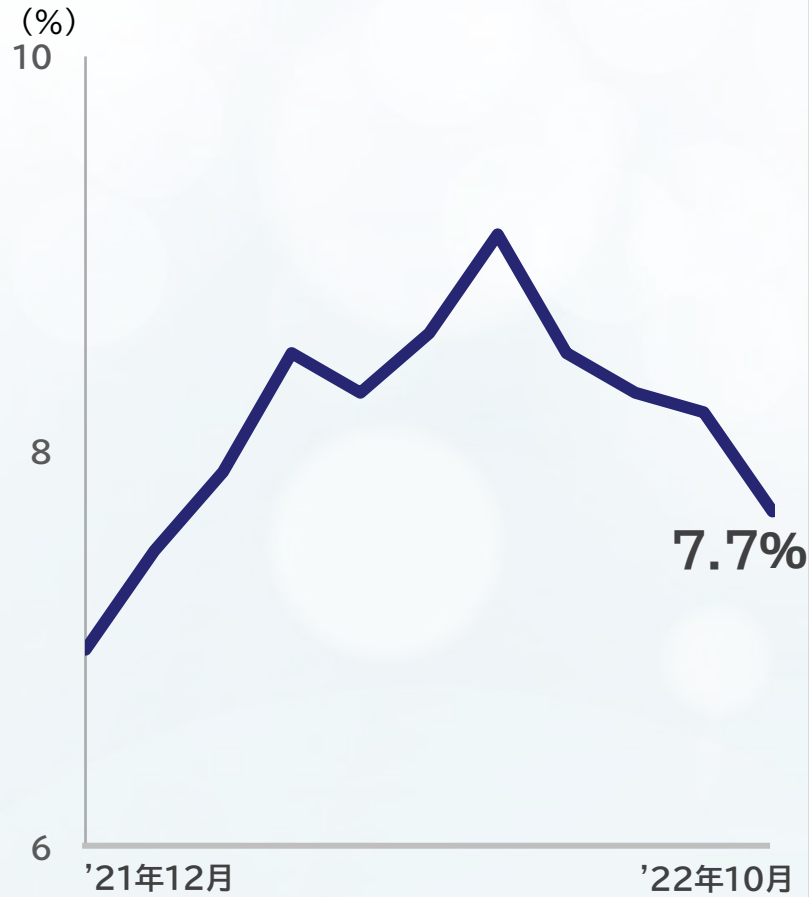
NAV(時価純資産)16.7兆円

LTV(純負債／保有株式価値)15.0%

手元流動性 4.3兆円

市場環境について

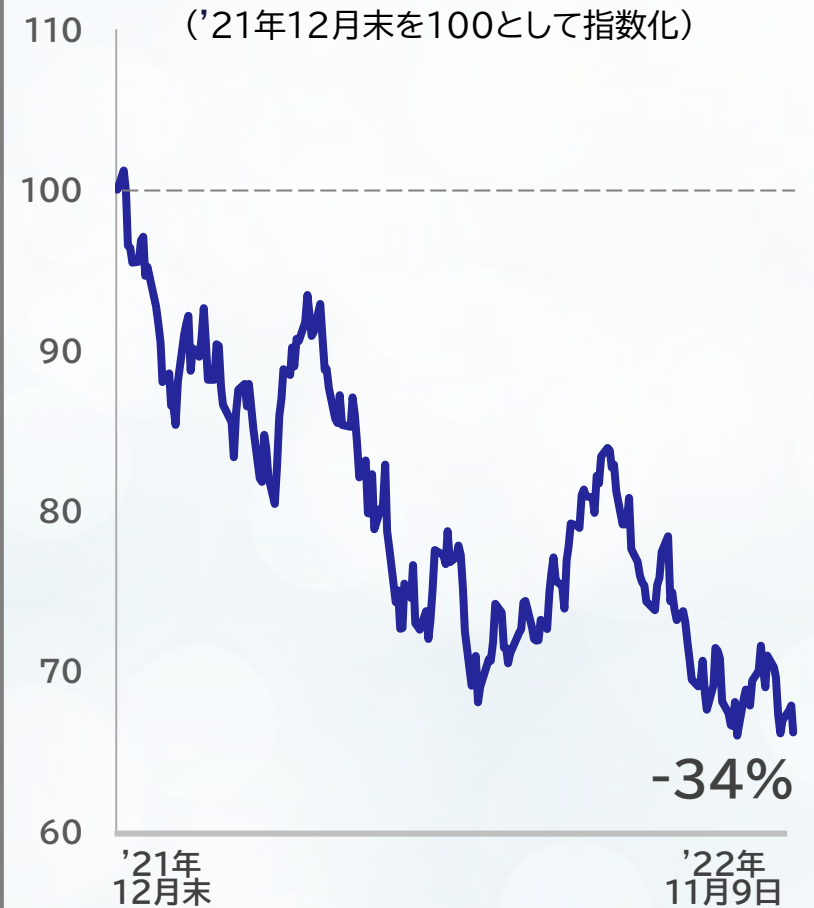
米国消費者物価指数



米国長期金利



ナスダック総合指数



地政学リスクの顕在化

米中摩擦

ロシア・
ウクライナ
情勢

守り

継続的な
資金化

×

投資基準
厳格化

連結業績

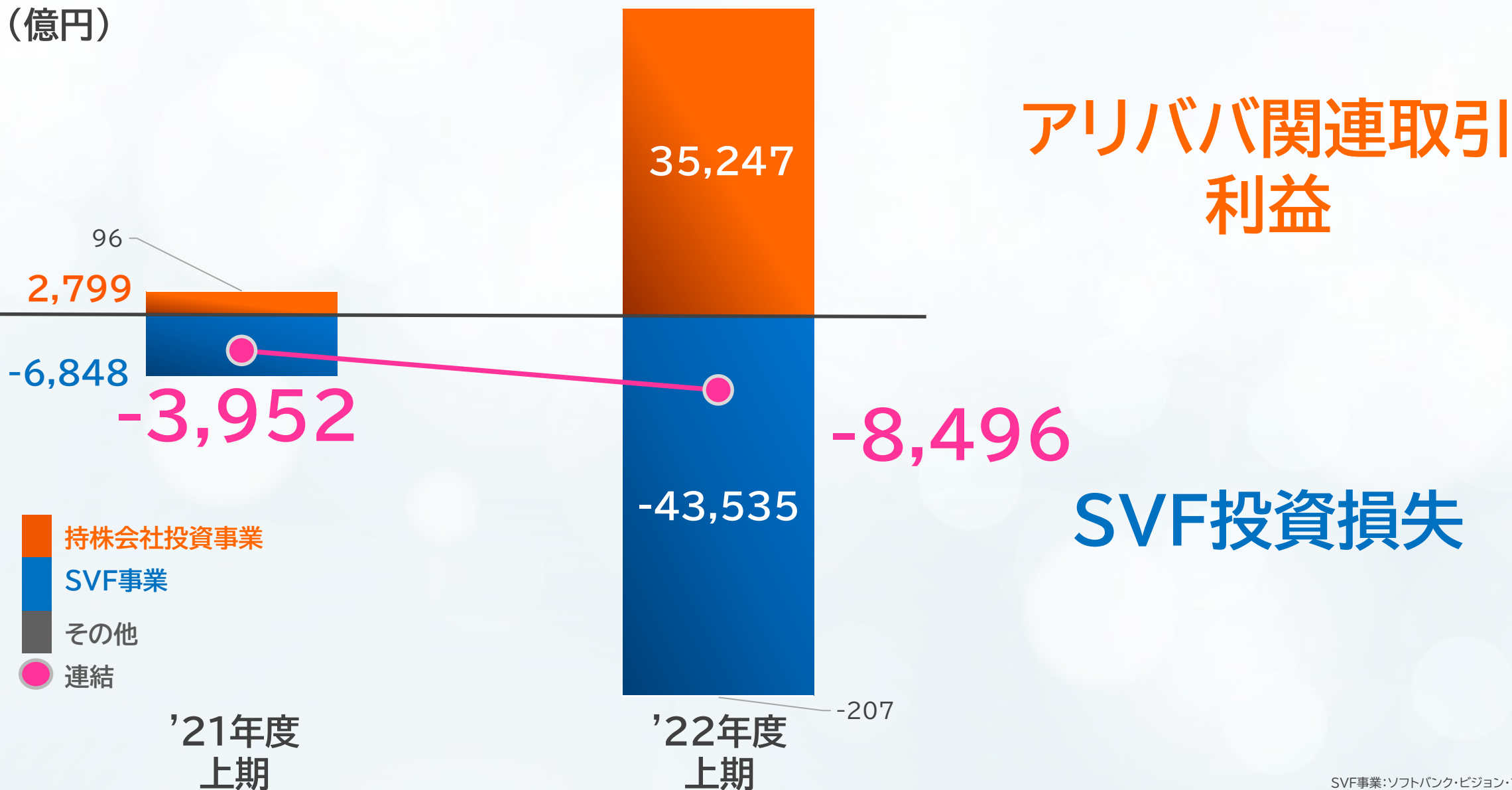
連結業績の状況

(億円)

	'21年度 上期	'22年度 上期	増減額
売上高	29,835	31,825	+1,990
投資損益	-3,952	-8,496	-4,544
税引前利益	10,470	2,926	-7,543
純利益	3,636	-1,291	-4,927

投資損益

(億円)



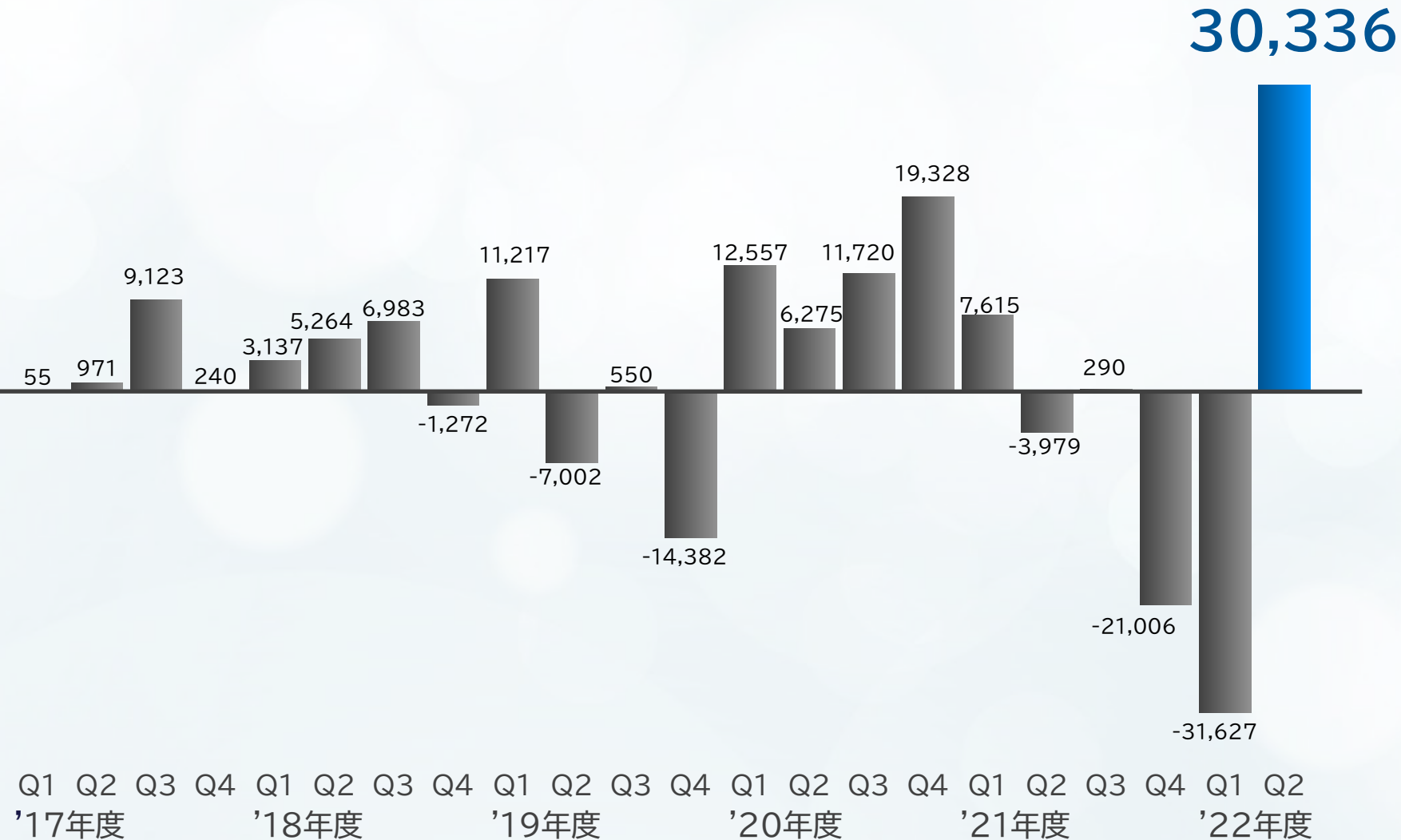
税引前利益 (セグメント別)

(億円)

	'21年度 上期	'22年度 上期	増減額
持株会社投資事業	10,156	32,623	+22,467
SVF事業	-4,012	-33,507	-29,495
ソフトバンク事業	5,321	4,293	-1,028
アーム事業	340	356	+16
その他・調整額	-1,335	-839	+496
連結	10,470	2,926	-7,543

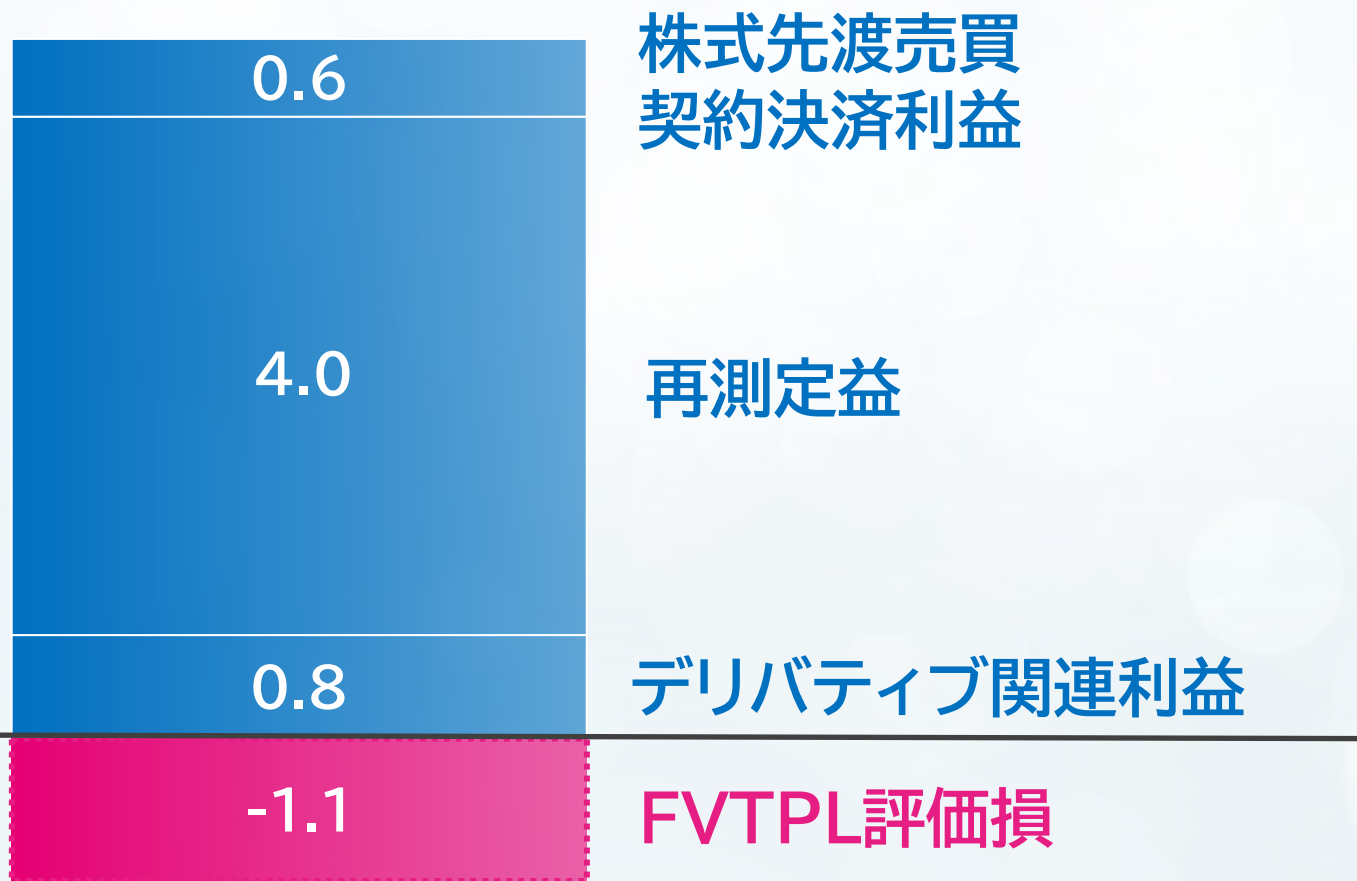
純利益 (四半期)

(億円)



アリババ関連取引の影響

(兆円)



連結業績
影響額

合計4.3兆円

アリババ関連取引による連結業績影響額: 以下(a)と(b)の合計
(a) 2022年8月~9月にかけて実施した、アリババ株式を利用した先渡売買契約のうち242百万ADR(米国預託証券)を対象とした契約を早期現物決済したことに伴う利益(+5.4兆円)
(b) 引き続き保有するアリババ株式に係る投資の未実現評価損失(-1.1兆円)

為替影響

NAVへの影響

NAVの増加

+2.9兆円

会計への影響

資本の増加

+2.6兆円

連結純利益

-1.1兆円

円安はNAVと資本にプラスの影響

NAVの推移

3月末からは1.8兆円減少



NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTV の定義及び算出方法('22年3月末時点)」 「NAV・LTVの定義及び算出方法('22年9月末時点)」を参照
NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではありません。

各四半期末時点

NAV

(兆円)

保有株式価値

23.2

純負債

4.7

19.7

3.0

NAV

18.5

16.7

'22年3月末

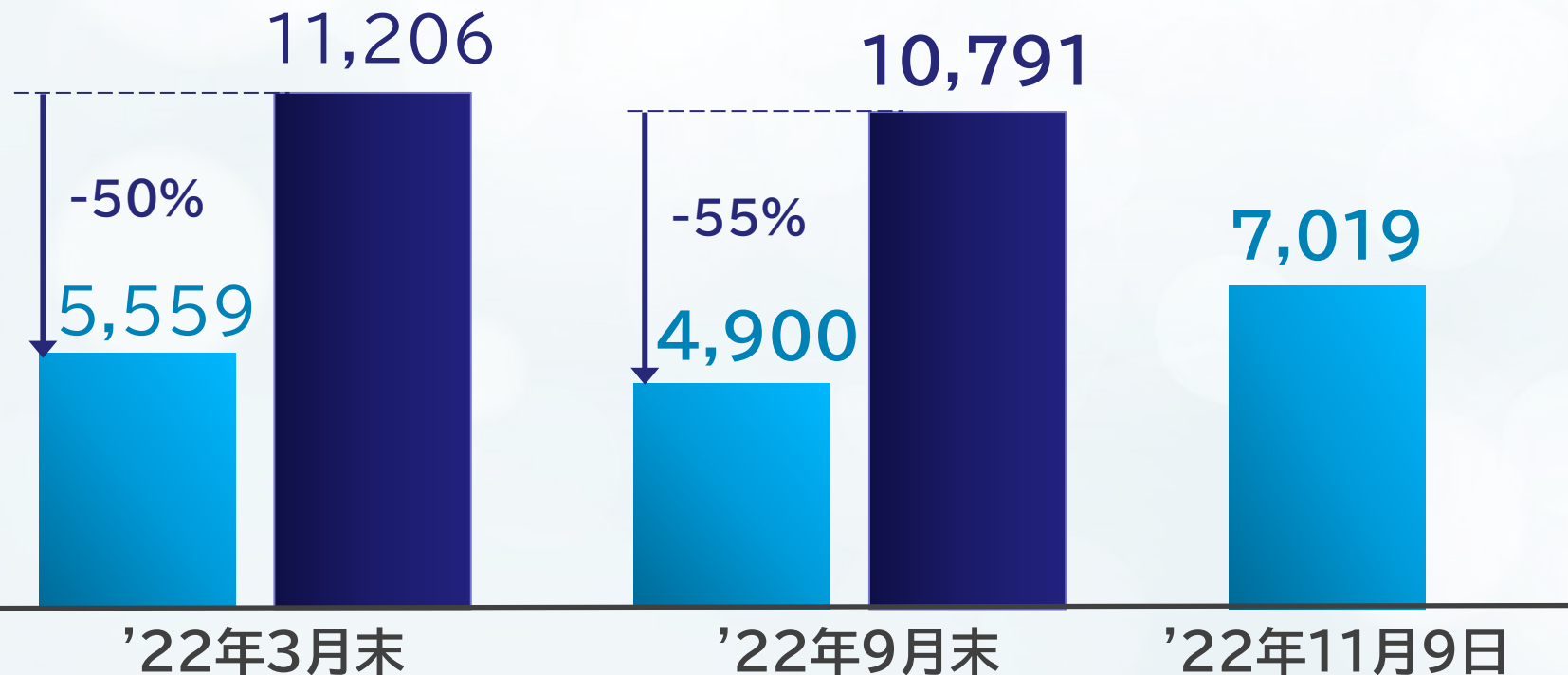
'22年9月末

NAVは
3月末比
1.8兆円減少

1株当たりNAVと株価

(円)

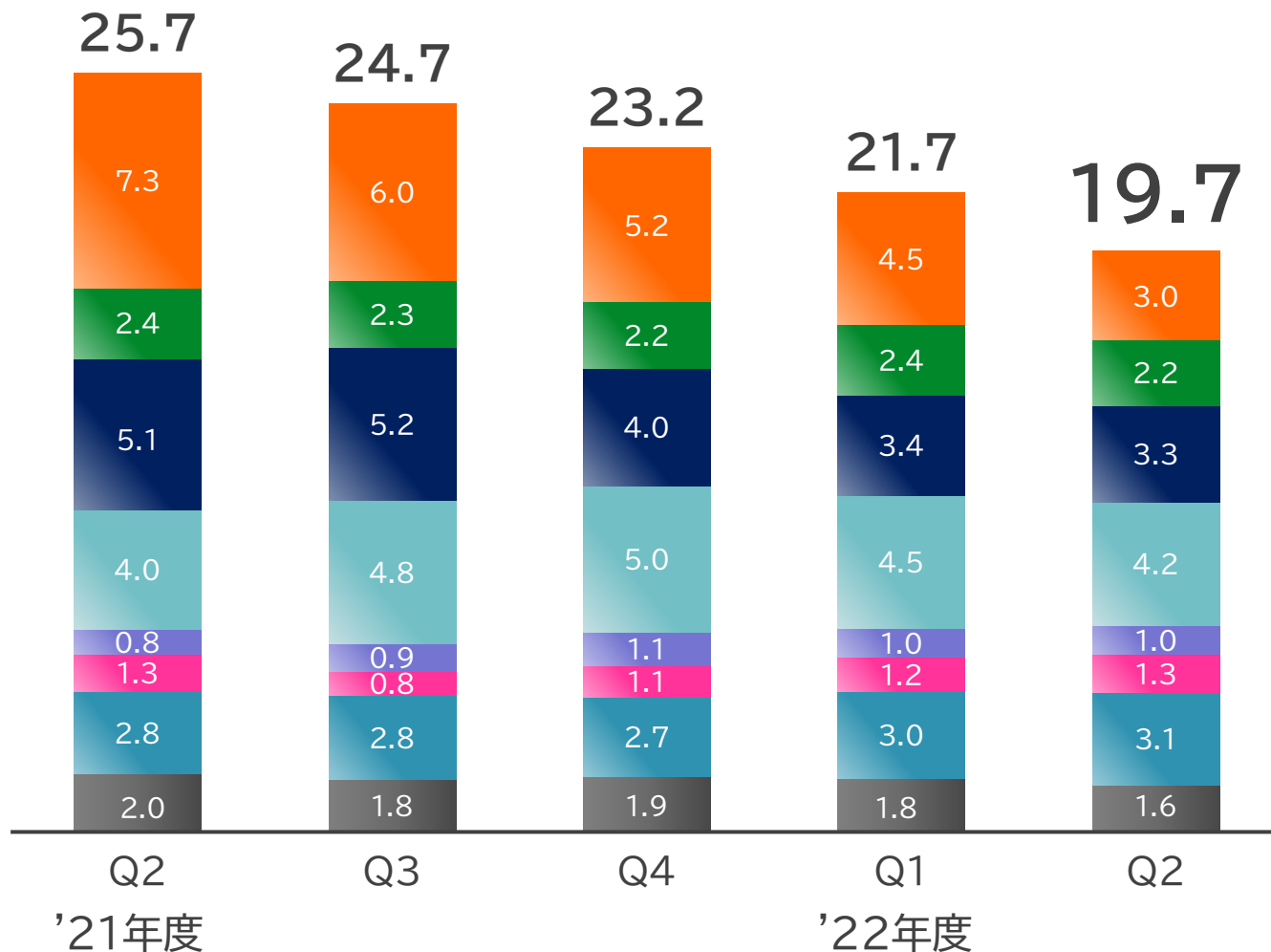
■ 株価 ■ 1株当たりNAV



保有株式価値

(兆円)

アセットバック・ファイナンス除く



構成比('22年9月末時点)

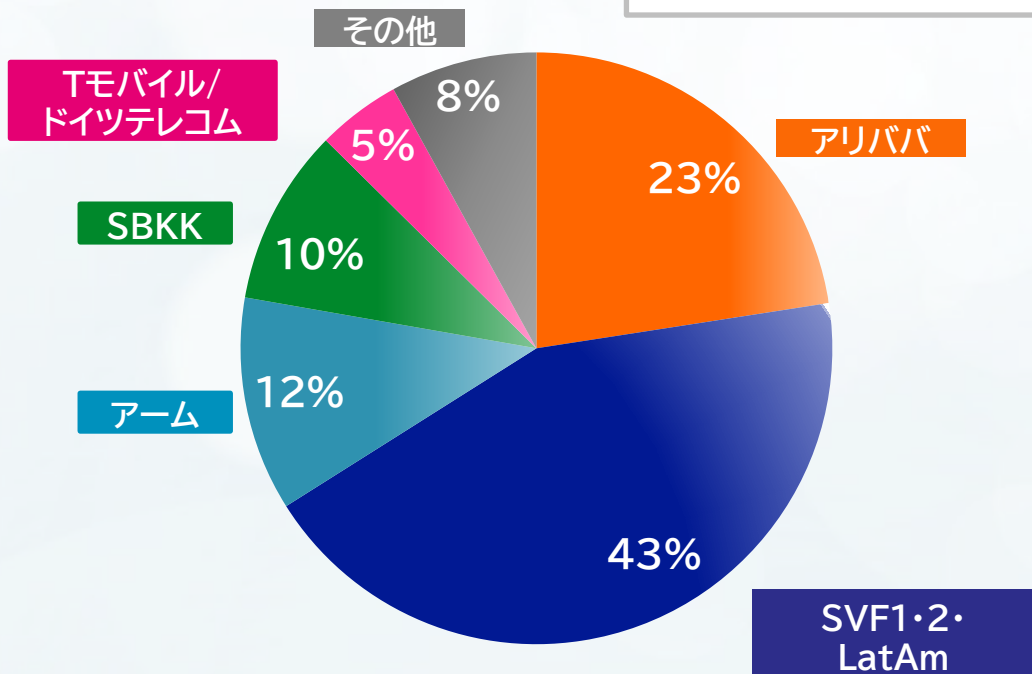


保有株式価値：ポートフォリオの分散

アセットバック・ファイナンス除く

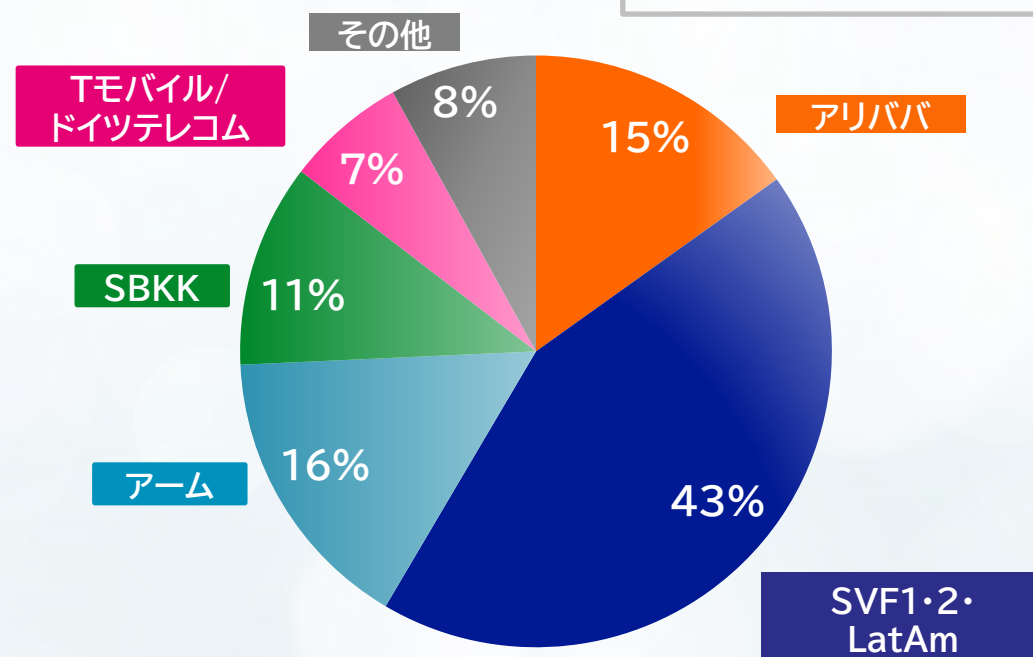
'22年3月末

上場株式の割合
(アセットバック・ファイナンス控除後)
52%



'22年9月末

上場株式の割合
(アセットバック・ファイナンス控除後)
44%



保有株式価値の詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法('22年3月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法('22年9月末時点)」を参照
 上場株式の割合：アリババ、SVF1・SVF2・LatAmファンドおよびSB Northstarが保有する上場株式、SBKK、Tモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)。
 (i) '22年9月末時点のSBGの保有株式価値のうち上場株式価値の占める割合(アセットバック・ファイナンス控除後)と、(ii)アームの上場準備状況を踏まえた、'22年9月末時点のSBGのアーム保有株式価値(アセットバック・ファイナンス控除後)を合計すると60%となります。アームは既に上場準備の開始を発表していますが、上場の時期、上場後のアームおよびSBGのアーム保有株式価値については未定であり、これらについて何らの保証または示唆を与えるものではありません。
 SBGのアーム保有株式価値の詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法('22年9月末時点)」を参照

「守り」の実行

「守り」の実行と還元

NAV
16.7兆円

LTV
15.0%

手元流動性
4.3兆円

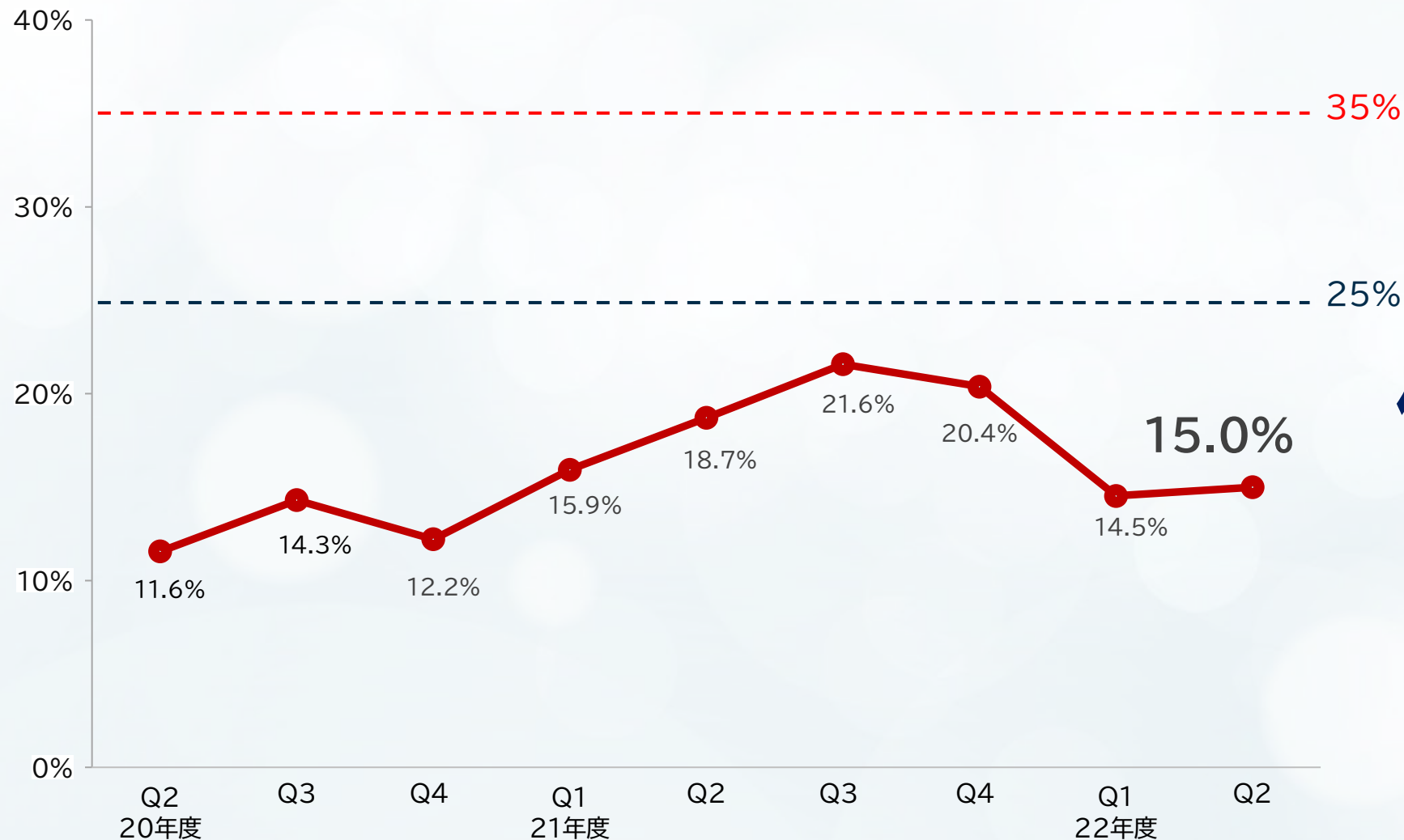
(’22年9月末時点)

債権者
有利子負債の返済

株主
自社株買い

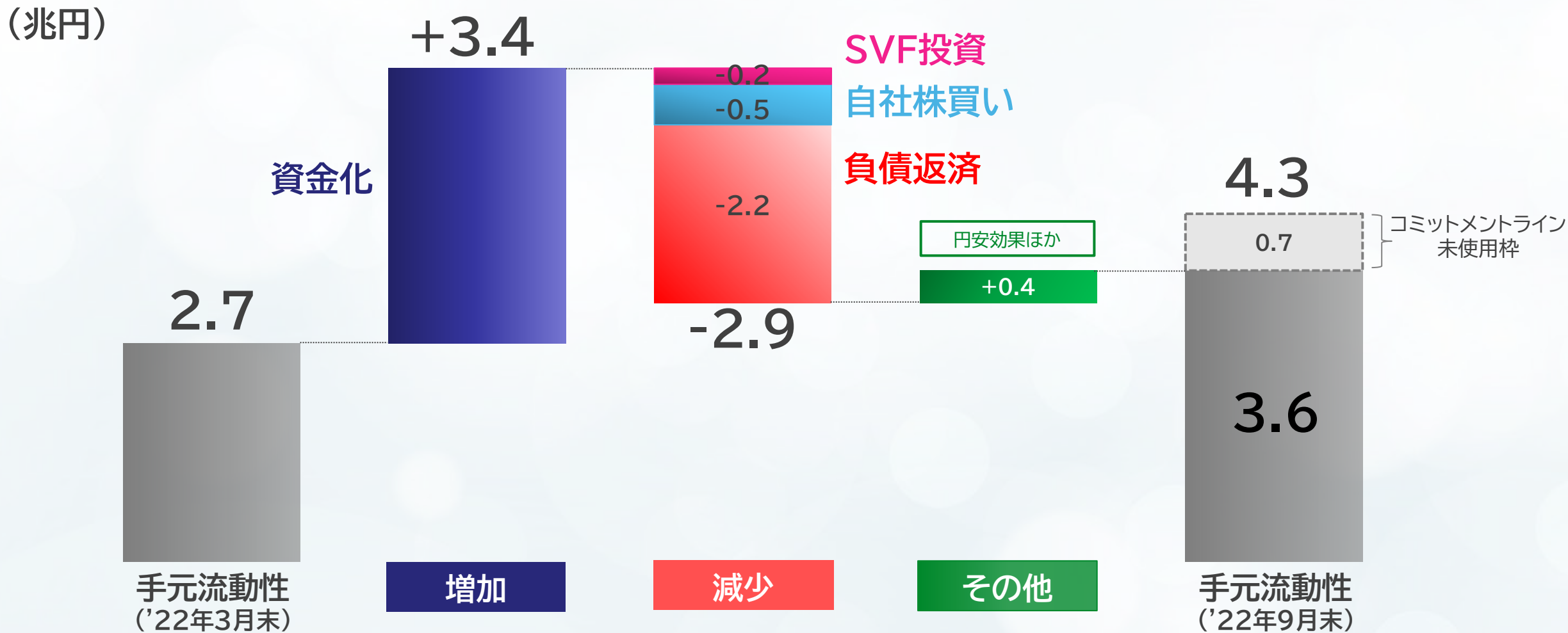
LTVの推移

アセットバック・ファイナンス除く



**LTVは
低位を維持**

資金化と資本配分('22年度上期)



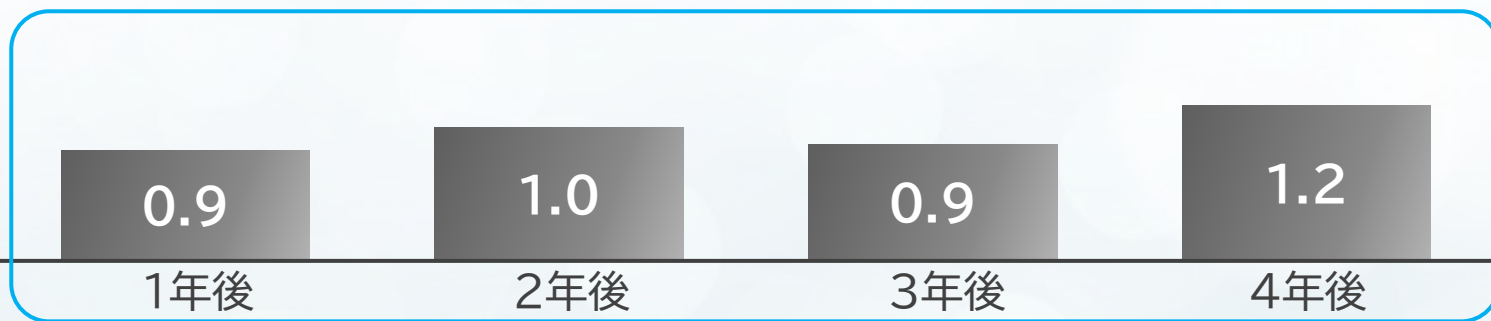
各期の平均レート等により円換算
 手元流動性:現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース(SB Northstarを除く)
 資金化:SVF1からの分配(+ \$1.6B)、SVF2からの分配(+ \$0.5B)、LatAmファンドからの分配(+ \$0.1B)、SB Northstarからの資金還流(+ \$0.7B)、アリババ株式を利用した株式先渡契約(+ \$18.3B)、アーム株式を利用したアセットバック・ファイナンスによる調達(+ \$1.4B)、Tモバイル株式売却(+ \$2.4B)、SoFi Technologies, Inc.株式売却(+ \$0.7B)
 SVF投資:SVF1&2およびLatAmファンドへの拠出額合計(- \$1.9B)
 自社株買い:2021年11月8日取締役会決議に基づく自己株式の取得額(- ¥523.1B)
 負債返済:SBGコミットメントライン返済(- \$4.5B)、SBGシニア・ローン返済(- ¥325.2B)、SBG社債償還による支出(- ¥142.5B)、アリババ株式を利用したマージン・ローン返済(- \$6.0B)、Tモバイル株式を利用したマージン・ローン返済(- \$2.1B)、アーム株式を利用したアセットバック・ファイナンス返済(- \$0.9B)

手元流動性

(兆円)



今後4年間
4.1兆円



手元流動性

社債償還予定

SBG単体負債の削減（'22年度上期+10月社債買入れ）

社債の償還・買入れ
（10月に実施した社債の買入れを含む）

総額 4,565 億円

マージン・ローンの返済

総額 1兆78 億円

銀行借入の返済

総額 8,860 億円

総額
2.4兆円
を削減

株主還元：自己株式の取得

取得枠 1兆円

('21年11月9日～'22年11月8日まで)



全額取得完了
('22年10月17日)

株主還元：自己株式の取得

取得枠 4,000億円

(’22年8月9日～’23年8月8日まで)



全額取得完了
(’22年11月10日)

株主還元：自己株式の取得

(億円) 累計取得額 **5.0**兆円('16年以降)



大規模な
自己株式取得
を継続

株主還元：自己株式の取得（'19年2月～'22年10月）

	(\$B)
1 Apple	299
2 Alphabet	128
3 Microsoft	92
4 Meta Platforms	83
5 Oracle	75
6 Charter Communications	41
7 Procter & Gamble	31
8 Lowe's	30
9 Intel	30
10 SoftBank Group	28
27 Alibaba Group Holding	14
45 Toyota Motor	10

他のグローバル
企業に匹敵する
株主還元

\$2.7B (4,000億円)
'22年11月10日追加取得完了

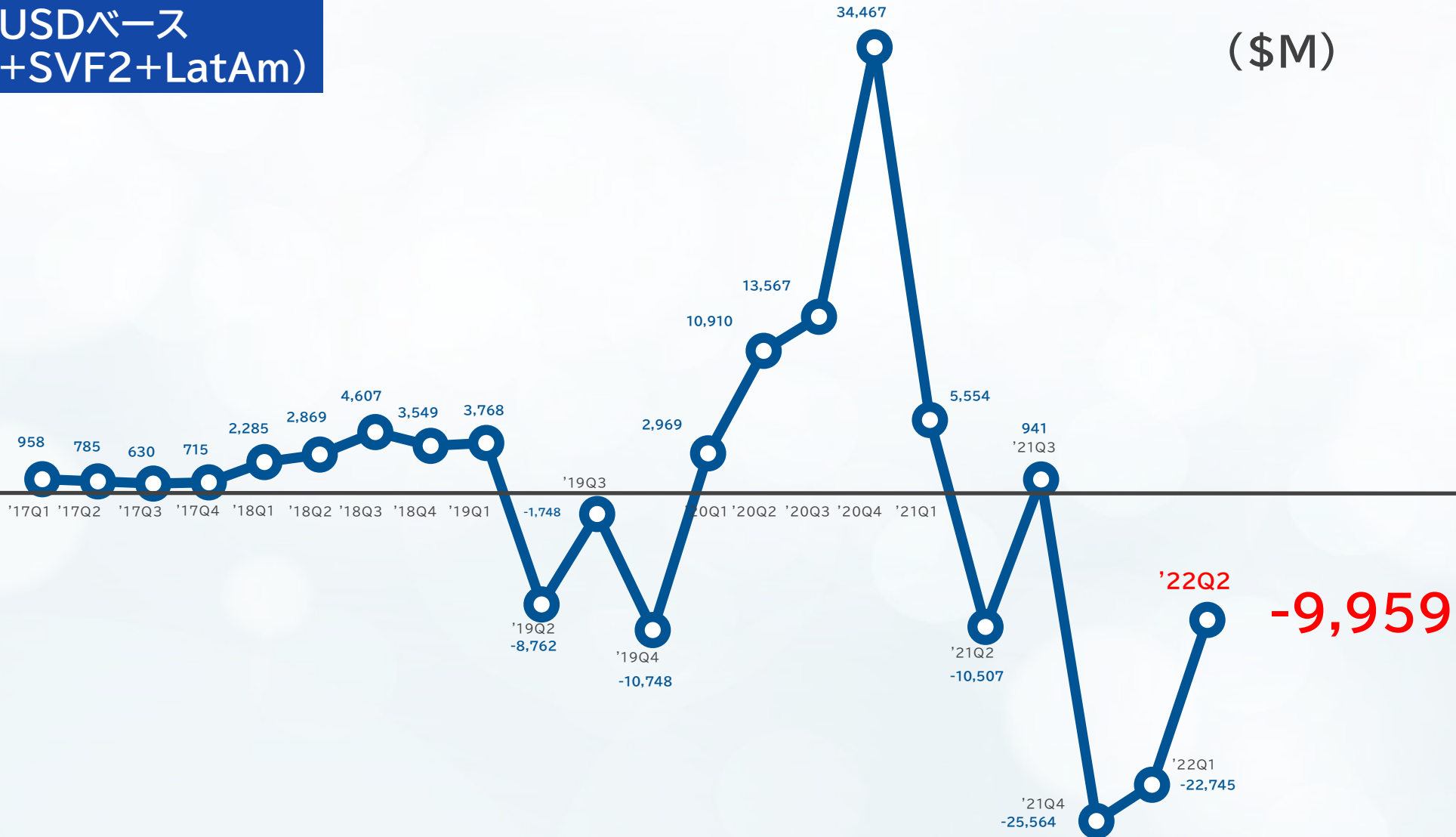
米国および日本市場に上場する企業におけるランキング(金融機関を含まない)
'19年2月～'22年10月：2022年10月17日時点の当該期間における各社開示資料
および為替レートを基に当社作成
SoftBank Group \$28bn:'19年2月以降の当社取締役会決議に基づき実施した自
己株式取得金額合計4兆1,000億円を1米ドル=148.83円で換算して算出

SoftBank Vision Fund

投資損益 (四半期)

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAm)

(\$M)



投資損益(四半期): 当社連結財務諸表の作成における為替換算前のSVF投資損益の四半期計上額
(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

投資損益 (累計)

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAm)

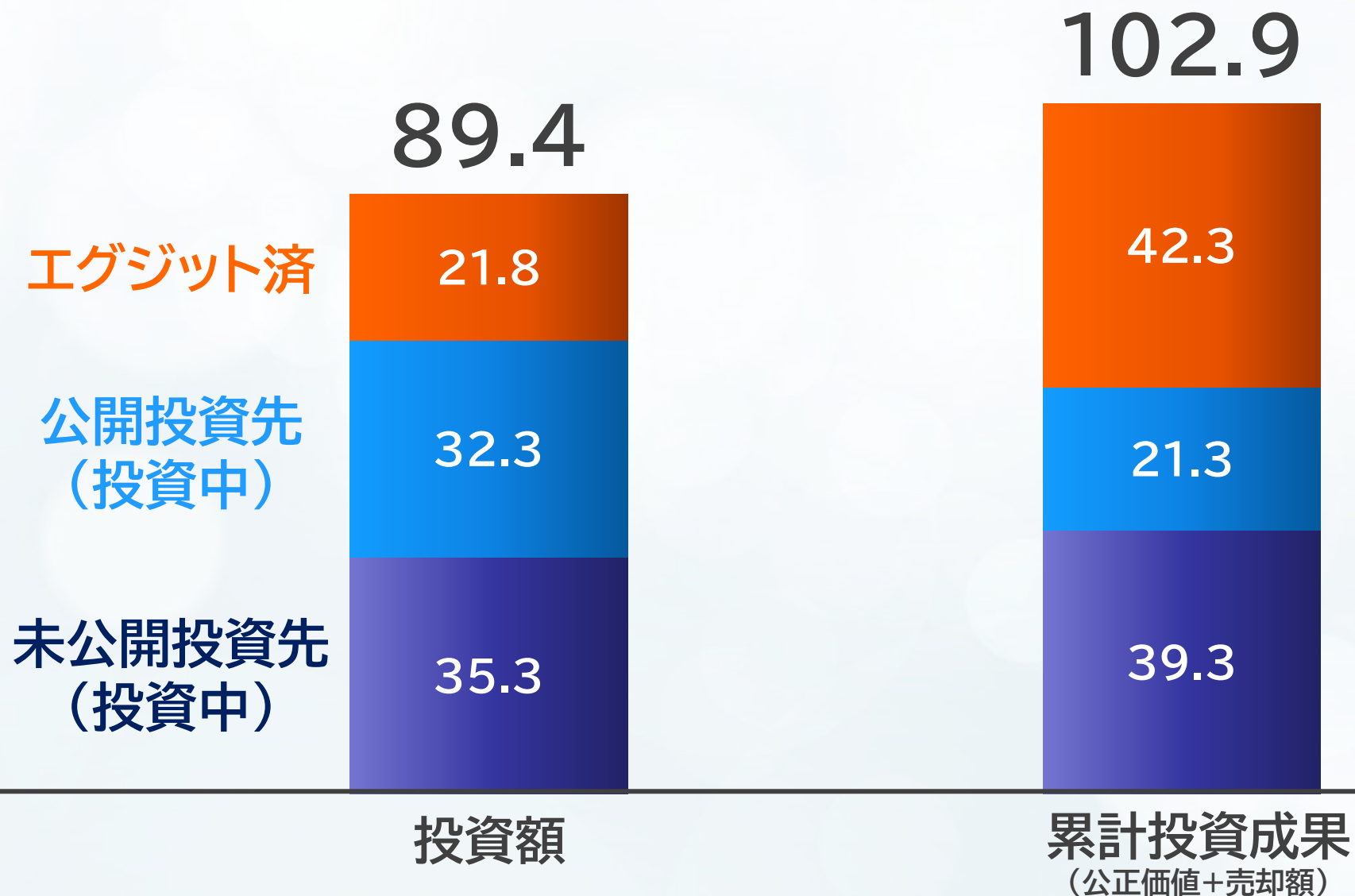
(\$M)



投資損益(累計): 当社連結財務諸表の作成における為替換算前のSVF投資損益のFY17Q1からの累計上額
(デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

SVF1 累計投資成果 ('22年9月末時点)

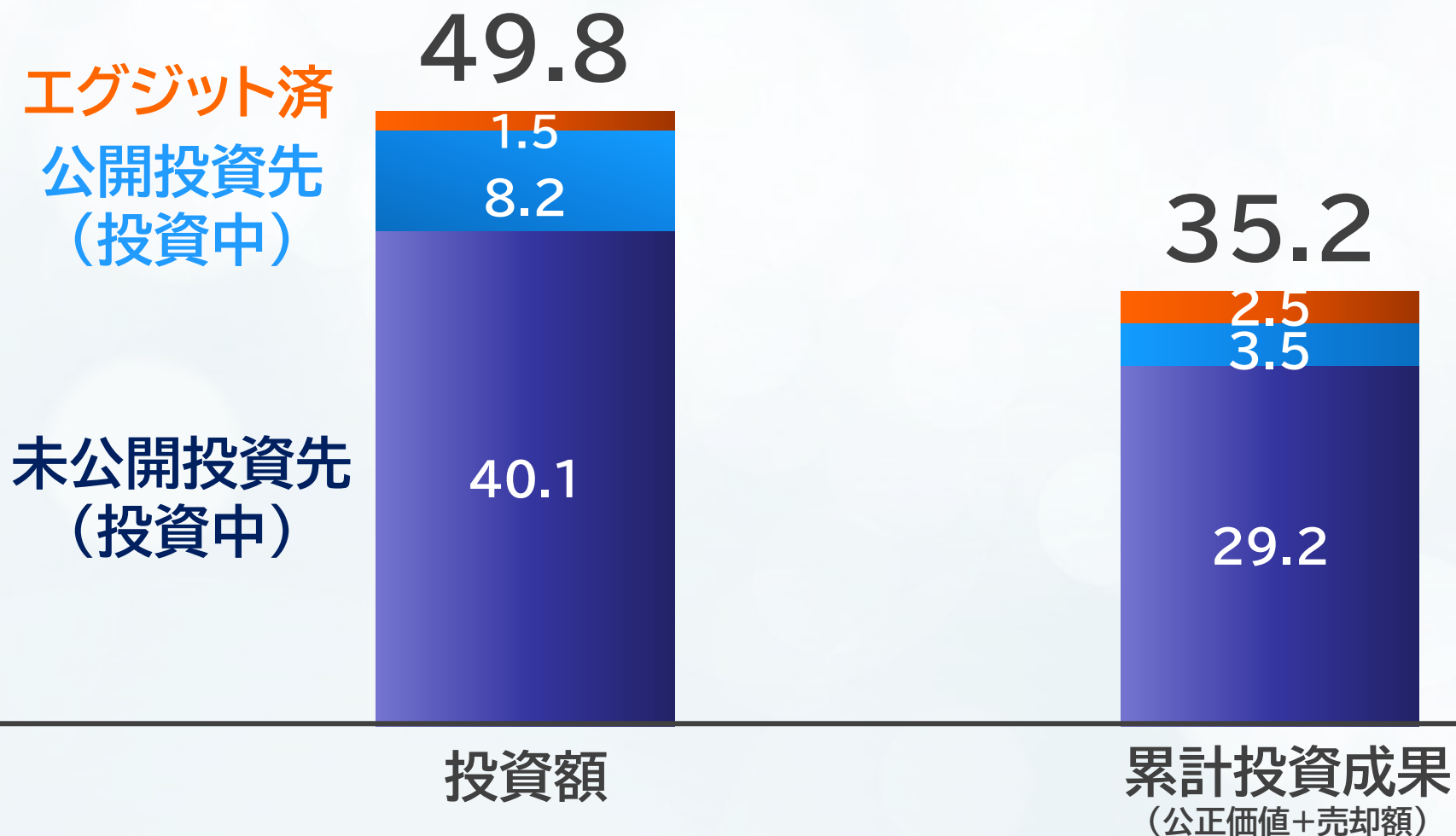
(\$B)



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開/未公開の区分は、'22年9月末時点の状態に基づく。
エグジット済には、株式交換による処分(売却)、投資に係るデリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めていない。

SVF2 累計投資成果 ('22年9月末時点)

(\$B)

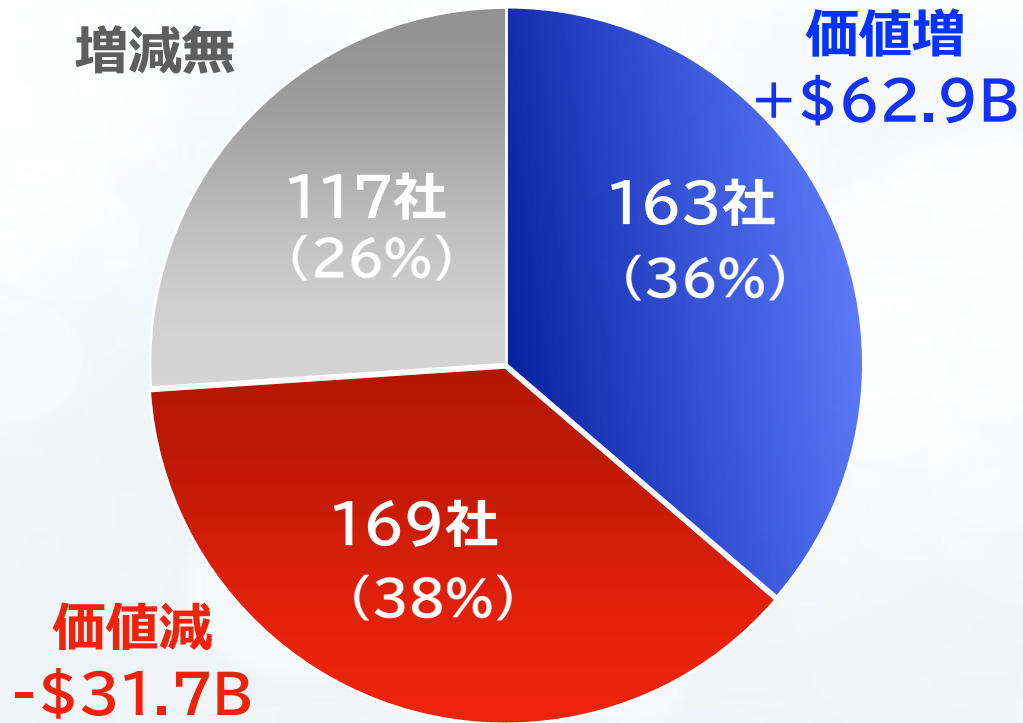


税金等の控除前。投資先の公開/未公開の区分は、'22年9月末時点の状態に基づく。
エグジット済には、投資に係るデリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
SVF2のエグジット前の投資の投資額および公正価値には、投資の取得対価の一部として受領した他会社の非支配持分に係るものを含む。

ポートフォリオの価値変動 (累計)

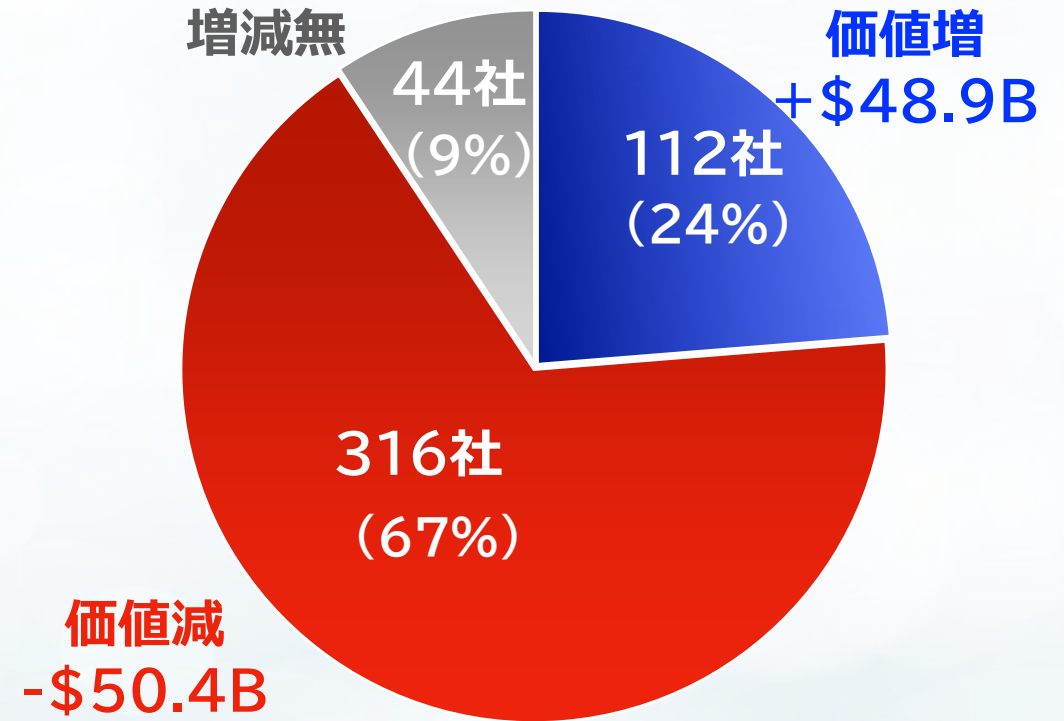
USDベース
(SVF1+SVF2+LatAm)

'22年3月末



\$31,245M (449社)

'22年9月末



-\$1,460M (472社)

投資損益 ('22年度上期)

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAm)

計-\$32,705M

価値増

+\$1,878M (40社)

(価値増の主要因)

+\$875M +\$603M +\$343M +\$58M

取引事例	投資先 業績	類似企業 株価比較	上場 投資先	その他
(14社)	(5社)	(0社)	(7社)	(14社)

価値減

-\$34,582M (334社)

(価値減の主要因)

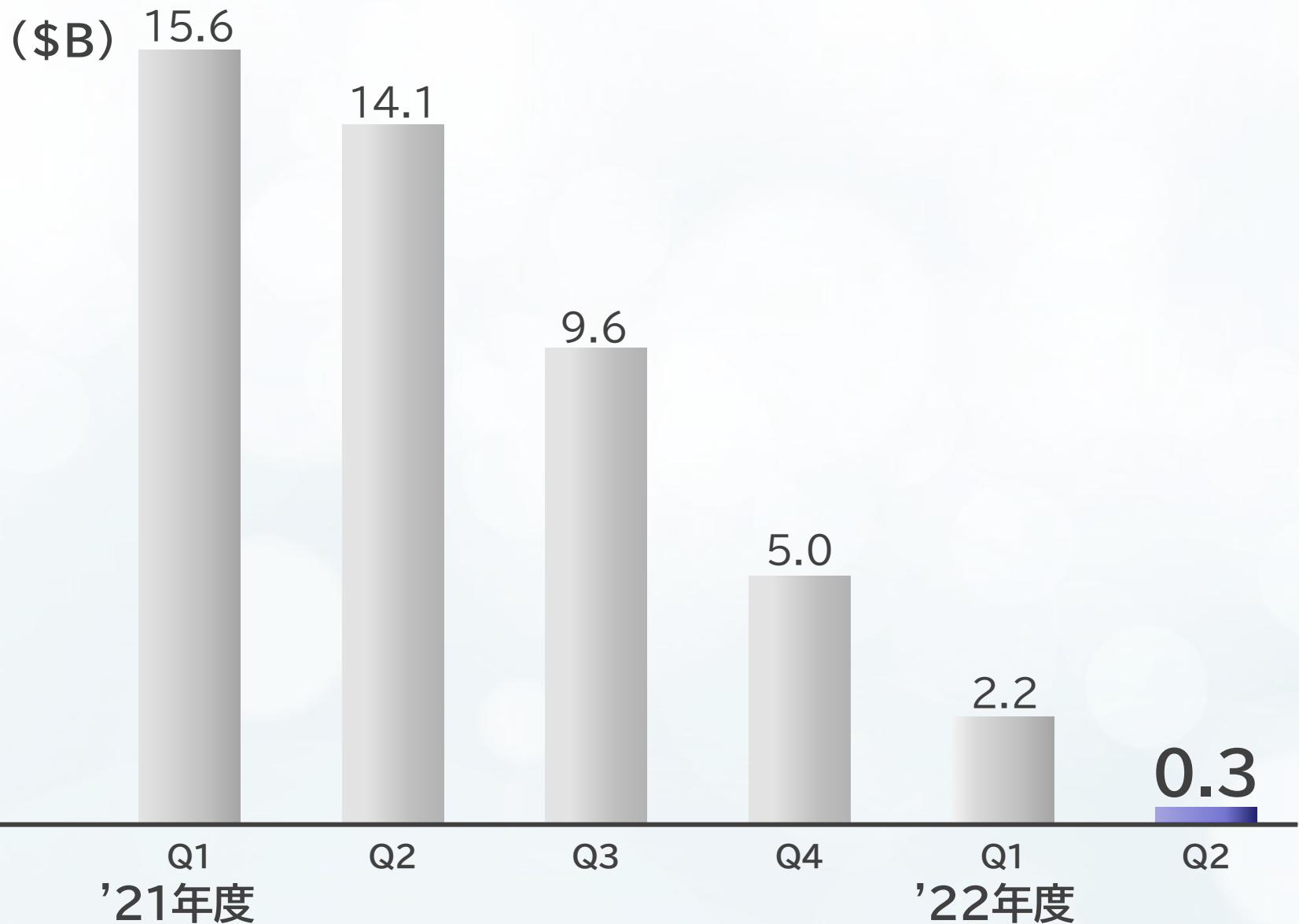


取引事例	投資先 業績	類似企業 株価比較	上場 投資先	その他
(8社)	(86社)	(151社)	(40社)	(49社)

投資損益: SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益 (デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の'22年度上期における価値変動の主要因について、SBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示
(出所) SBIA

上場投資先: 店頭市場で取引されているDiDiとZhangmenへの投資を含む。

投資額の推移 (SVF1+SVF2)



守りを徹底

IPO、売却・資金化(SVF1+SVF2 '22年度上期)

IPO 3件

goto

DELHIVERY

symbotic

売却・資金化 \$5.1B

Uber

 GUARDANT™

 贝壳
BEIKE

等

当面の運営方針

1

組織の効率化
(海外プラットフォームの一体化)

2

投資の厳選

3

既存投資先の価値向上

新リーダーシップ



Alex Clavel

米国・中南米
投資チーム統括



Greg Moon

アジア・欧州
投資チーム統括



Navneet Govil

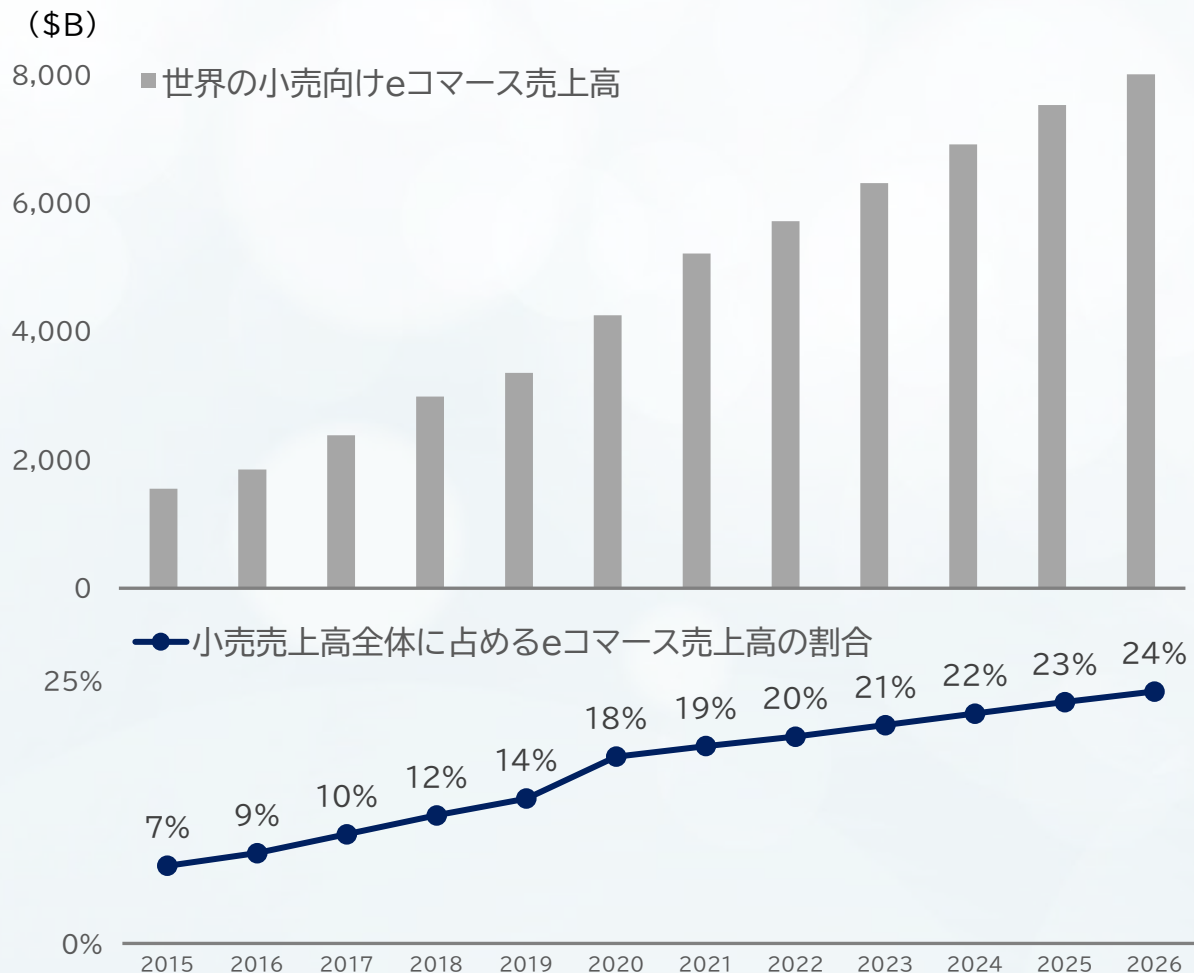
管理部門統括

SoftBank Vision Fund

注目セクター

デジタル・コマースの成長

世界のeコマース売上が継続的に拡大



投資先 (例)

attentive®

ByteDance

CommercelQ

Fanatics

当スライドに記載の投資先は、あくまで例示であり、SVF1およびSVF2、Latamファンドの投資対象の全てを網羅するものではない。SVF1およびSVF2、Latamファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはならない。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではない。投資の詳細なリストについては、visionfund.com/portfolio を参照

(出所) Statista
'15年から'21年までの世界の小売総売上高に占めるeコマースの割合、および'22年から'26年までの予測

グローバル・サプライチェーンの再創造

倉庫自動化がもたらす大きな成長機会

自動倉庫 (ASRS) 市場のオポチュニティ

自動化未対応
98%

2%

自動化済

投資先 (例)

 AutoStore

 AGILE ROBOTS

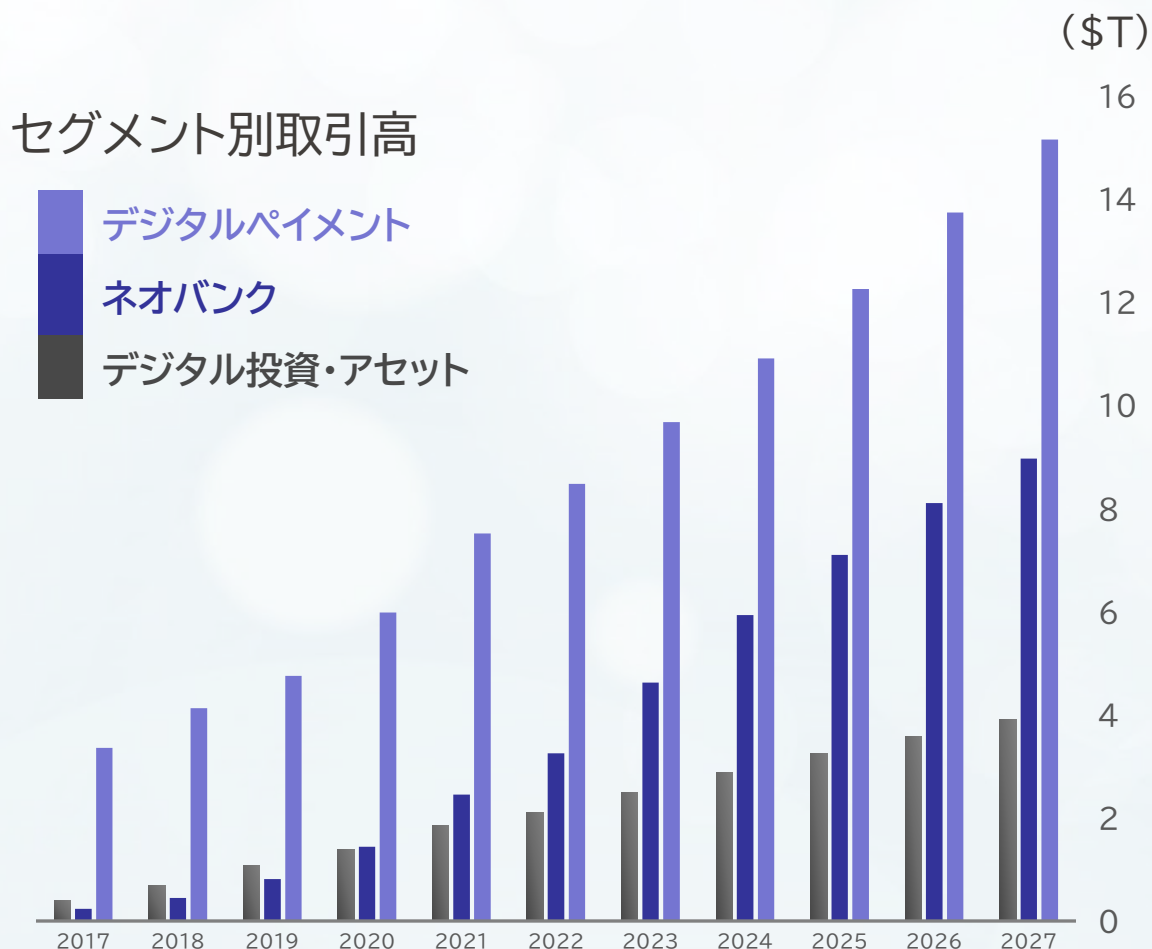
 BERKSHIRE
GREY

 cargomatic®

当スライドに記載の投資先は、あくまで例示であり、SVF1およびSVF2、Latamファンドの投資対象の全てを網羅するものではない。
SVF1およびSVF2、Latamファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはならない。
過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではない。投資の詳細なリストについては、visionfund.com/portfolio を参照

金融サービスへのアクセスをより身近に

フィンテックは継続的な成長へ



投資先 (例)



当スライドに記載の投資先は、あくまで例示であり、SVF1およびSVF2、Latamファンドの投資対象の全てを網羅するものではない。SVF1およびSVF2、Latamファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはならない。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではない。投資の詳細なリストについては、visionfund.com/portfolio を参照

人材市場のニュー・フロンティア

歴史的に高水準の求人数



投資先 (例)



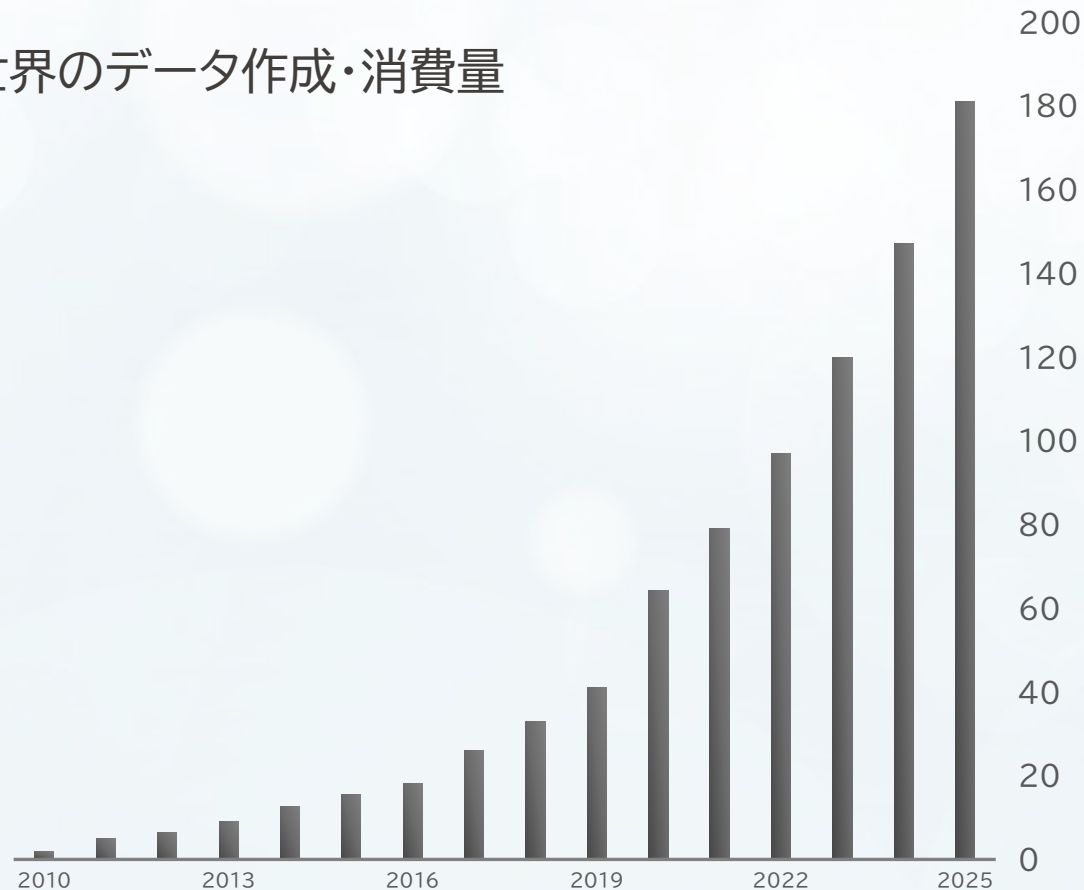
当スライドに記載の投資先は、あくまで例示であり、SVF1およびSVF2、Latamファンドの投資対象の全てを網羅するものではない。SVF1およびSVF2、Latamファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはならない。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではない。投資の詳細なリストについては、visionfund.com/portfolio を参照

世界のデータを管理、分析、保護

今後さらなる増加が予測される
全世界のデータ量

世界のデータ作成・消費量

(Zettabytes)



当スライドに記載の投資先は、あくまで例示であり、SVF1およびSVF2、Latamファンドの投資対象の全てを網羅するものではない。
SVF1およびSVF2、Latamファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはならない。
過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではない。投資の詳細なリストについては、visionfund.com/portfolio を参照

投資先（例）



(出所) Statista
世界のデータ作成・消費量: '10年から'20年までの全世界におけるデータ/情報の作成、取得、コピー、消費の量
および'21年から'25年までの予測値

既存ポートフォリオの状況

The image features a complex, 3D-rendered digital environment. The background is a dense, grid-like structure of blue and teal blocks, resembling a circuit board or a data center. A central, dark square platform is illuminated from below with a bright orange and red glow, creating a strong contrast. The word "arm" is written in a clean, white, lowercase sans-serif font in the center of this dark platform.

arm

売上高

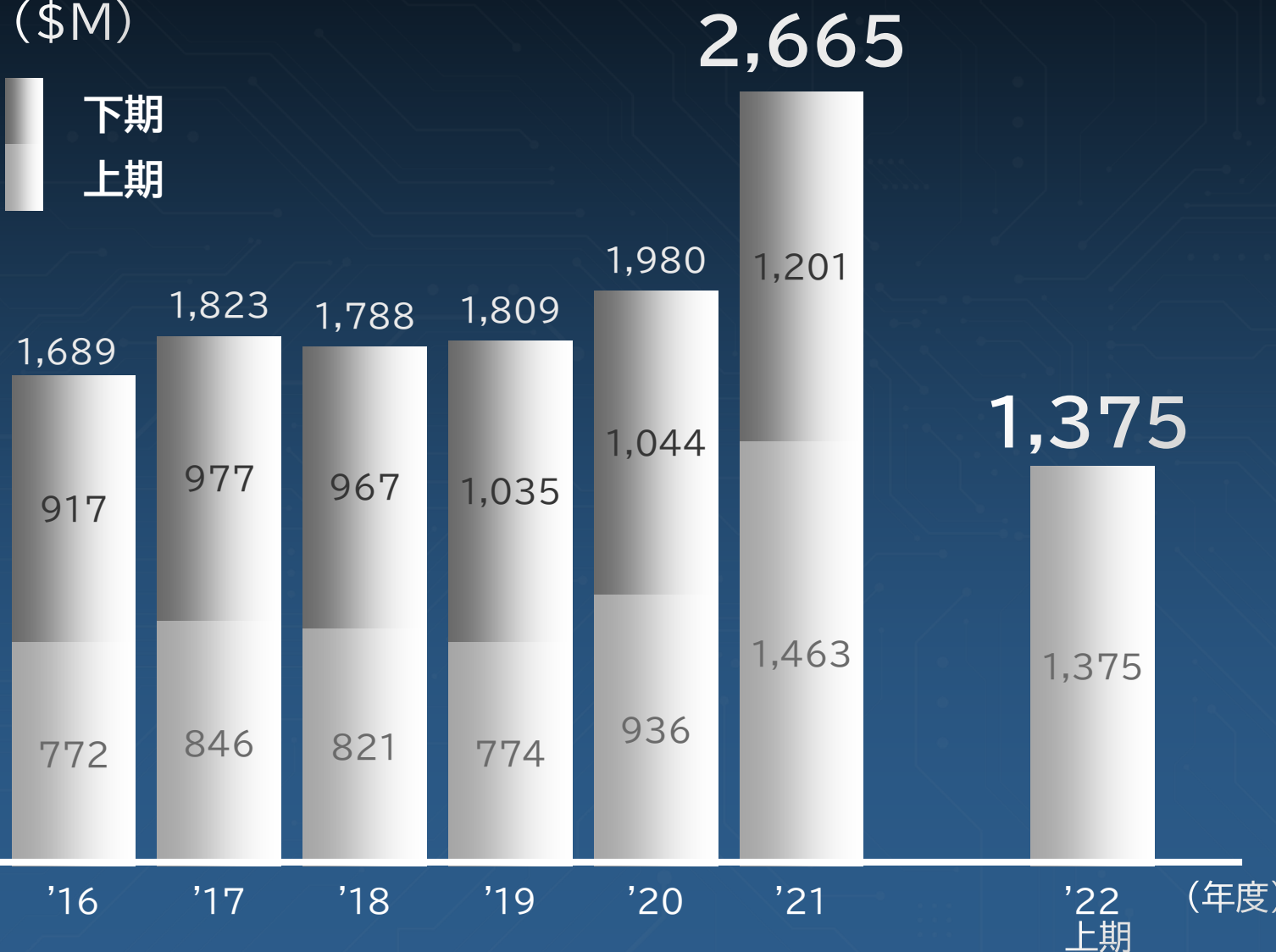
arm

(\$M)



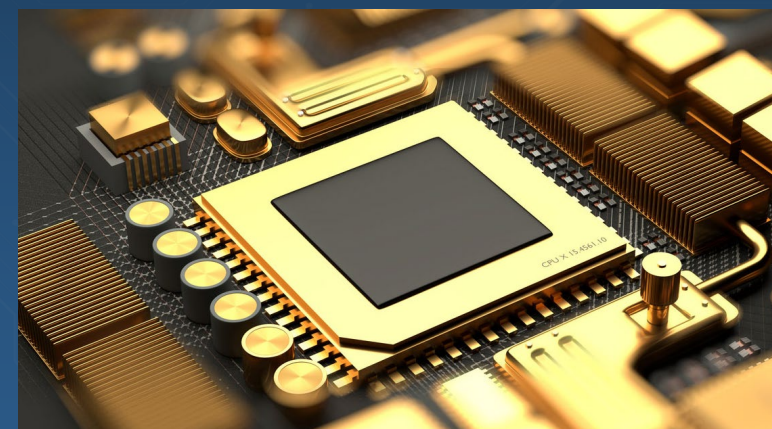
下期

上期



年平均成長率
(直近3年間の上期実績)

21%



(出所) Arm

'17年度以降: ISG事業を除く

ISG事業: Internet-of-Things Services Group; IoTに関連するサービスグループ

IFRSを基準としていますが、完全に準拠しているとは限りません。

全ての数字は未監査であり、方向性を示す目的としてのみ情報を提供しています。

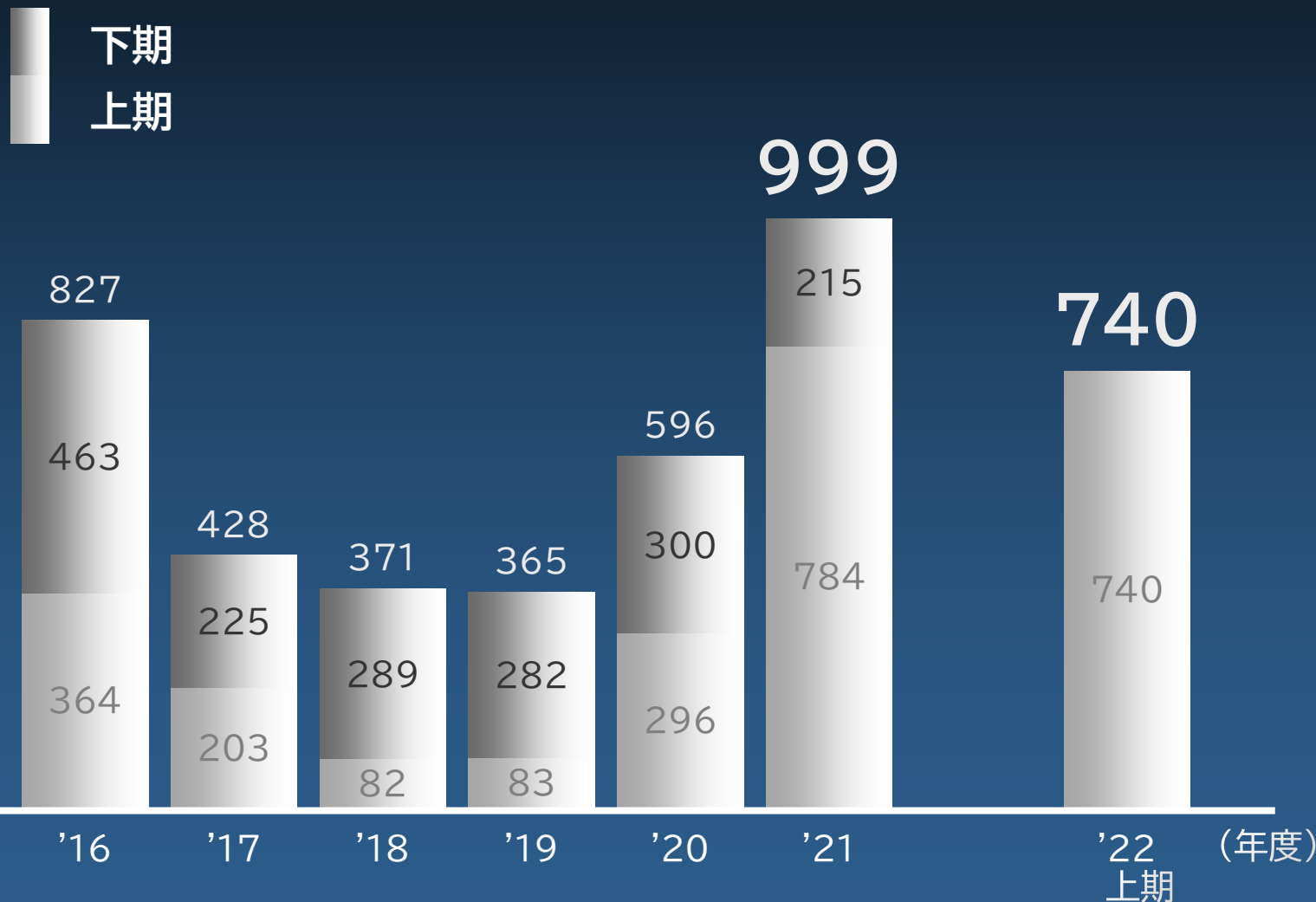
全ての数字は暫定的なものであり、変更になる可能性があります。

SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負いません。

調整後EBITDA

arm

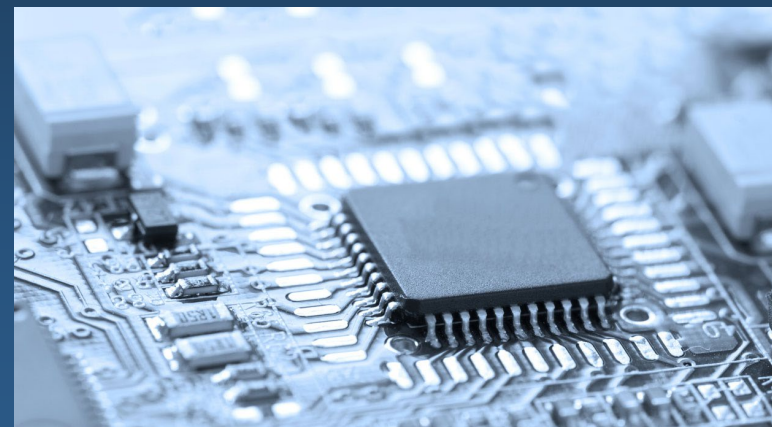
(\$M)



年平均成長率

(直近3年間の上期実績)

107%



(出所) Arm

'18年度~'19年度: ISG事業に係る直接費用を除く
'20年度~'21年度: ISG事業に係る直接費用及びISG事業に関連する本社費用を除く
ISG事業: Internet-of-Things Services Group; IoTに関連するサービスグループ
IFRSを基準としていますが、完全に準拠しているとは限りません。
全ての数字は未監査であり、方向性を示す目的としてのみ情報を提供しています。
全ての数字は暫定的なものであり、変更になる可能性があります。

SBG, SVF1, SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負いません。

マーケットシェア ('21年)

arm

モバイル



95%

IoT



63%

自動車



24%

クラウド



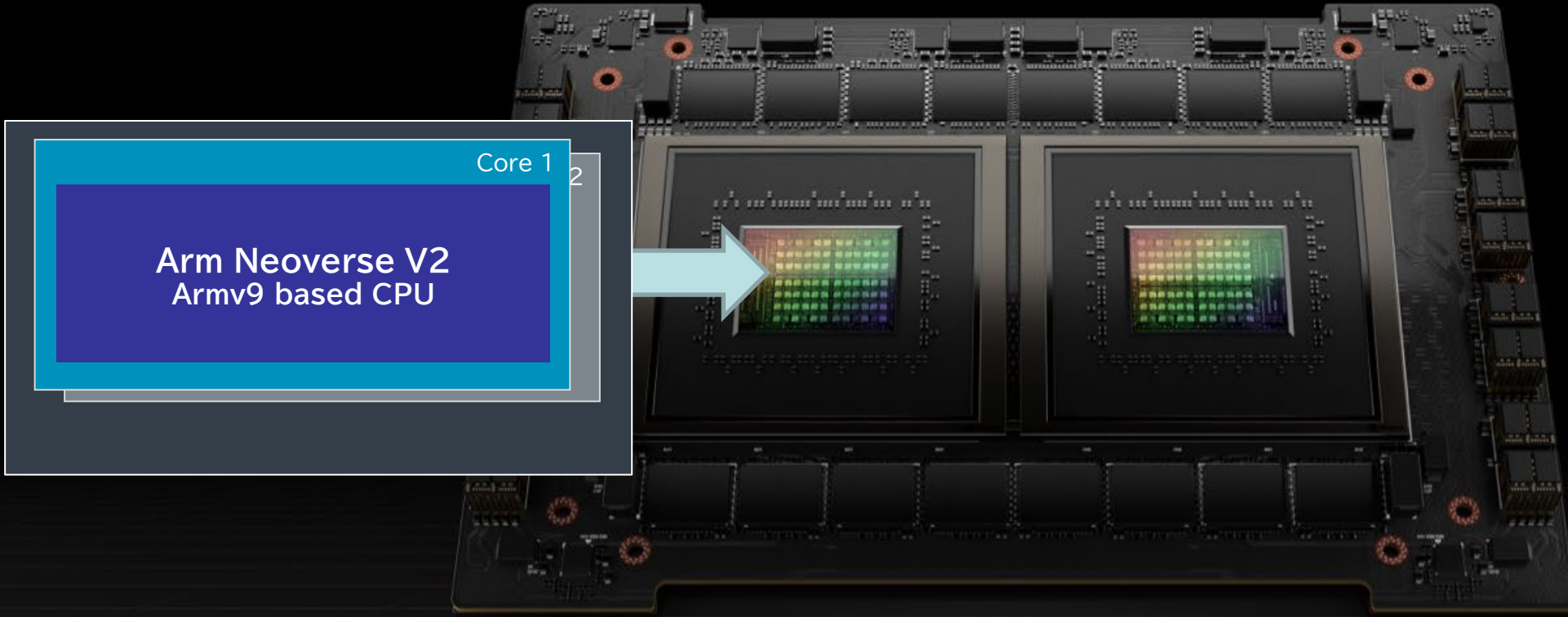
5%

成長産業のキープレイヤーに

モバイル: スマートフォンとタブレットのアプリケーションプロセッサにおけるマーケットシェア(数量ベース)、IoT: 産業向け・IoT製品向けの組込型チップ及びIoTチップにおけるマーケットシェア(数量ベース)、自動車: プロセッサを搭載した自動車向けチップにおけるマーケットシェア(数量ベース)、クラウド: クラウド事業者のサーバにおけるマーケットシェア(数量ベース)、各'21年の年間マーケットシェア、(出所) Armによる推定('22年4月提供)
当スライドは例示のみを目的として提供しており、Armから提供された情報に基づいて作成しています。
SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負いません。

Arm Neoverse V2

Arm史上最高のパフォーマンスを実現するプロセッサ



NVIDIA が Grace CPU Superchip を発表
Arm Neoverse V2 プロセッサ2基を搭載

新たなマネジメントの就任

arm



新任取締役

カレン・ダイクストラ

VMware, Inc., Gartner Inc.
取締役 (現任)

AOLの財務・管理責任者や、
Plainfield Asset Management
のパートナーを歴任



新任取締役

ジェフ・サイン

The Raine Group 共同創業者
兼 パートナー (現任)

モルガン・スタンレーやUBSにて
投資銀行業務に従事、その後 The
Raine Groupを創業



新任取締役

トニー・ファデル

ハイテク新興企業を支援する投資・
アドバイザリー企業 Build
Collective 代表 (現任)

AppleでiPodとiPhoneの開発を
リード



新任CFO

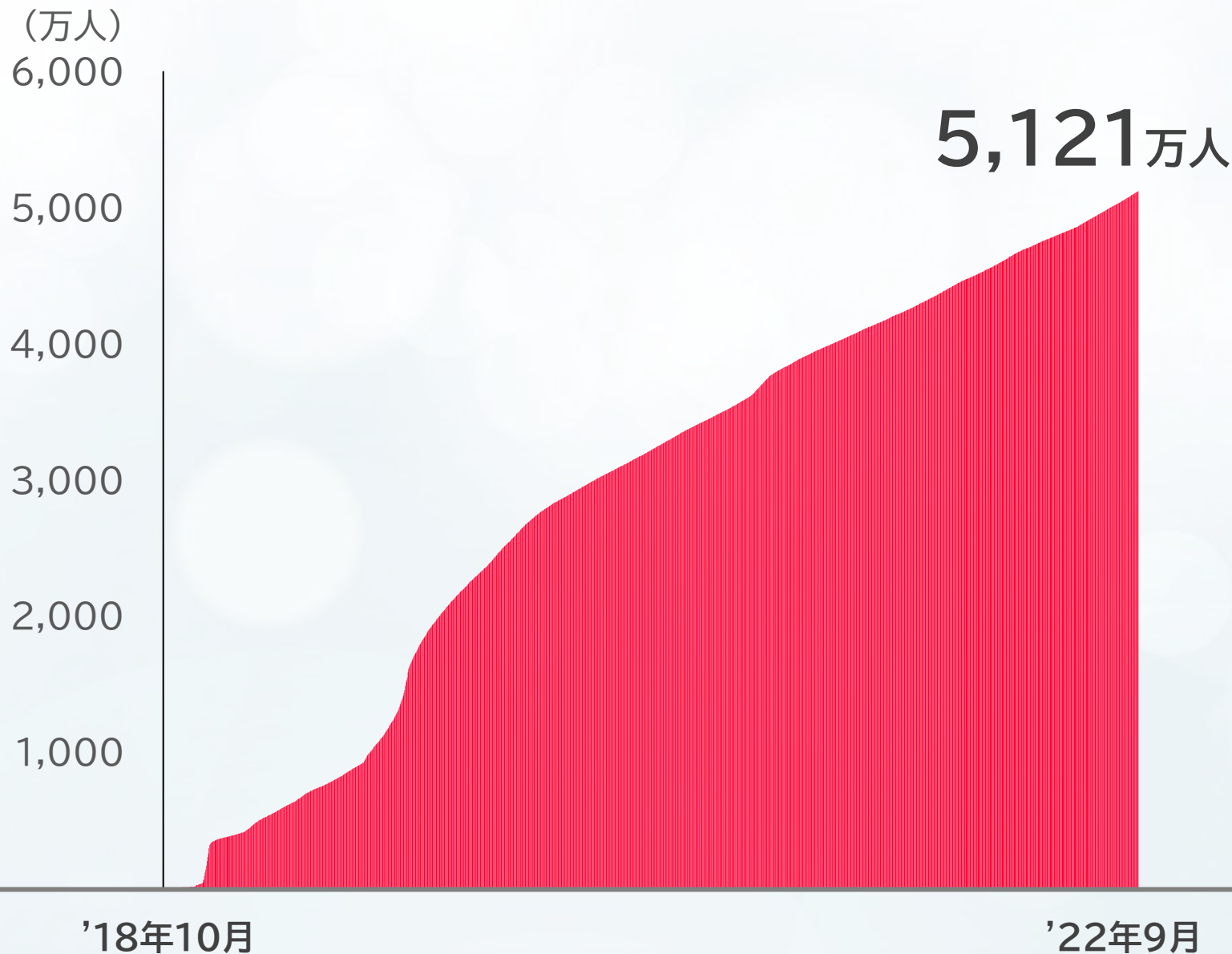
ジェイソン・チャイルド

Coupang Inc. 取締役 (現任)

Splunkのシニア・バイスプレジデント
兼 CFO、Opendoorや Amazon
International のCFOを歴任



登録ユーザー数

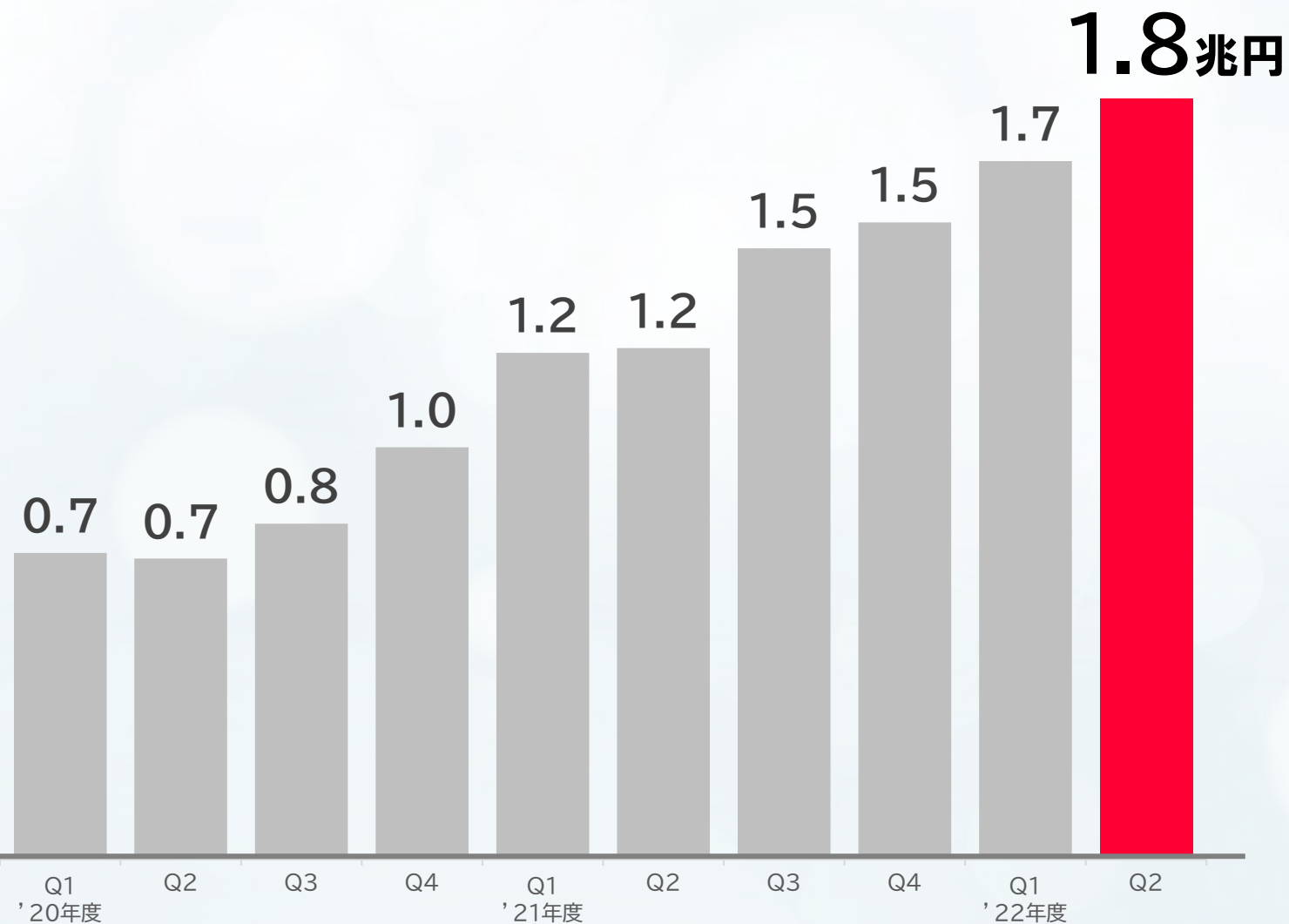


5,100万人突破
(’22年9月24日時点)



決済取扱高

(兆円)



着実に拡大



(出所) PayPay株式会社
決済取扱高:ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まない。
'21年度Q4以降は「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済を含む。
'22年2月より提供開始した「PayPayあと払い」による決済取扱高を含む。

高い知名度と存在感



国内QRコード決済
市場シェア



第1位

最もダウンロード
されたアプリ



第1位

利用者数が多い
アプリ



第2位

TAM
約250兆円

4.9
兆円

PayPay GMV
(CY2021)

PayPayカードとの
連携・シナジー

金融事業の拡大

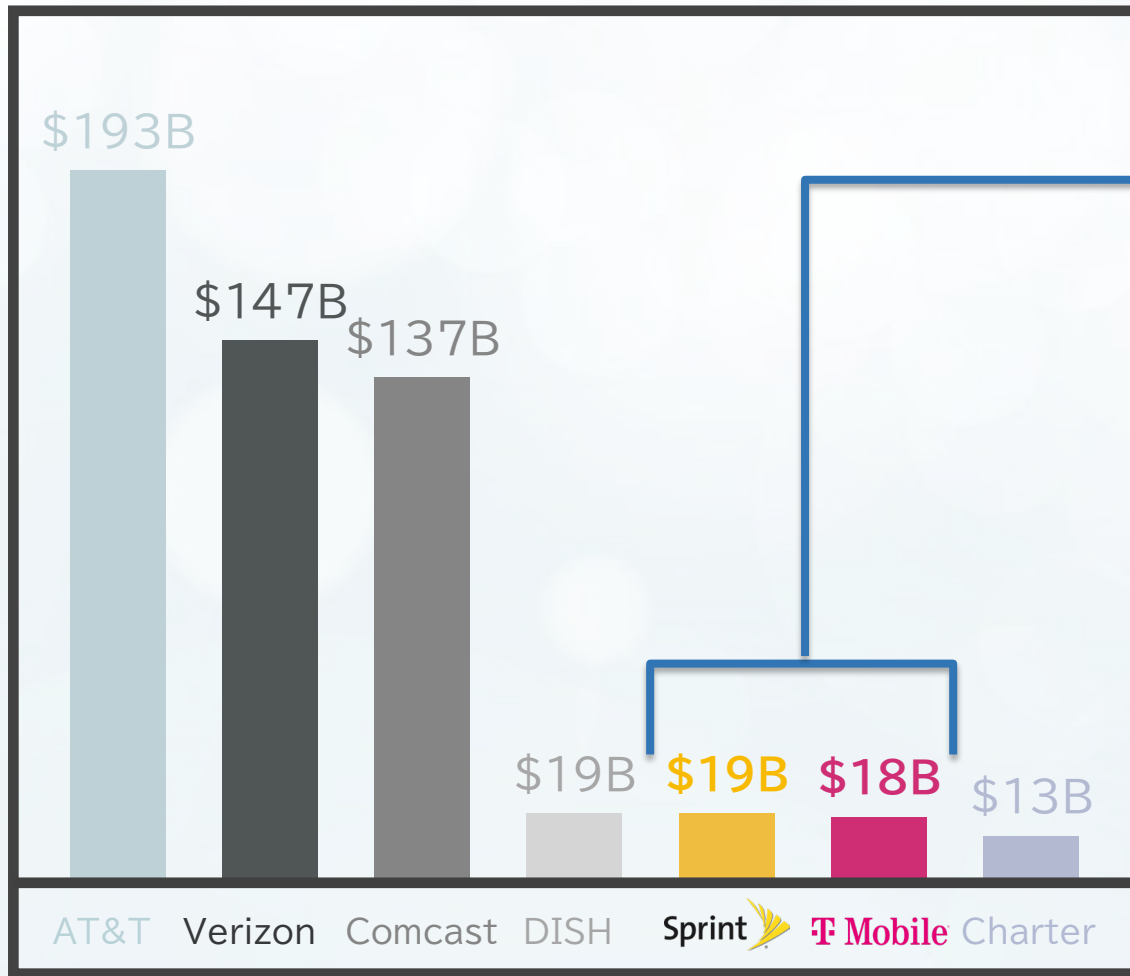
加盟店事業の拡大

更なる価値向上を
目指す

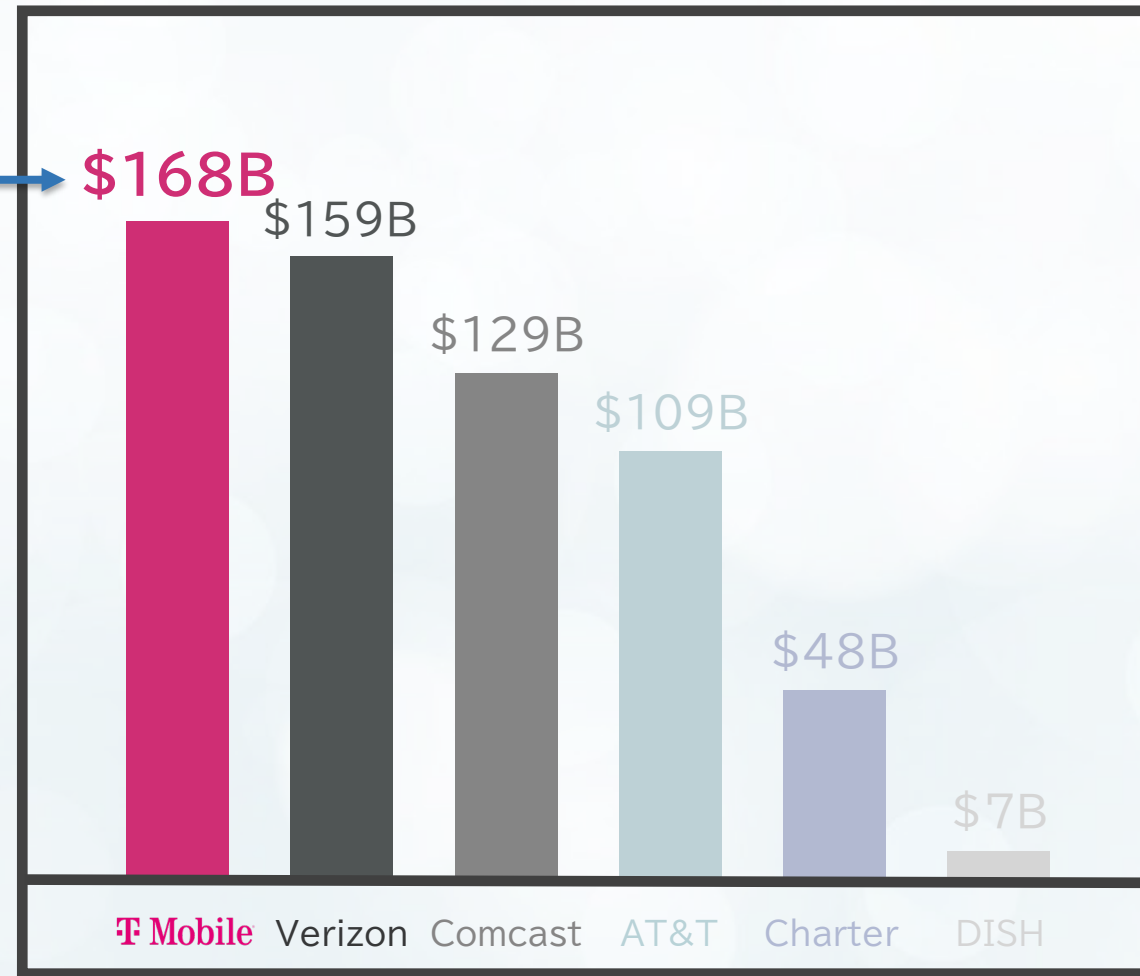
T Mobile[®]

米国通信 時価総額

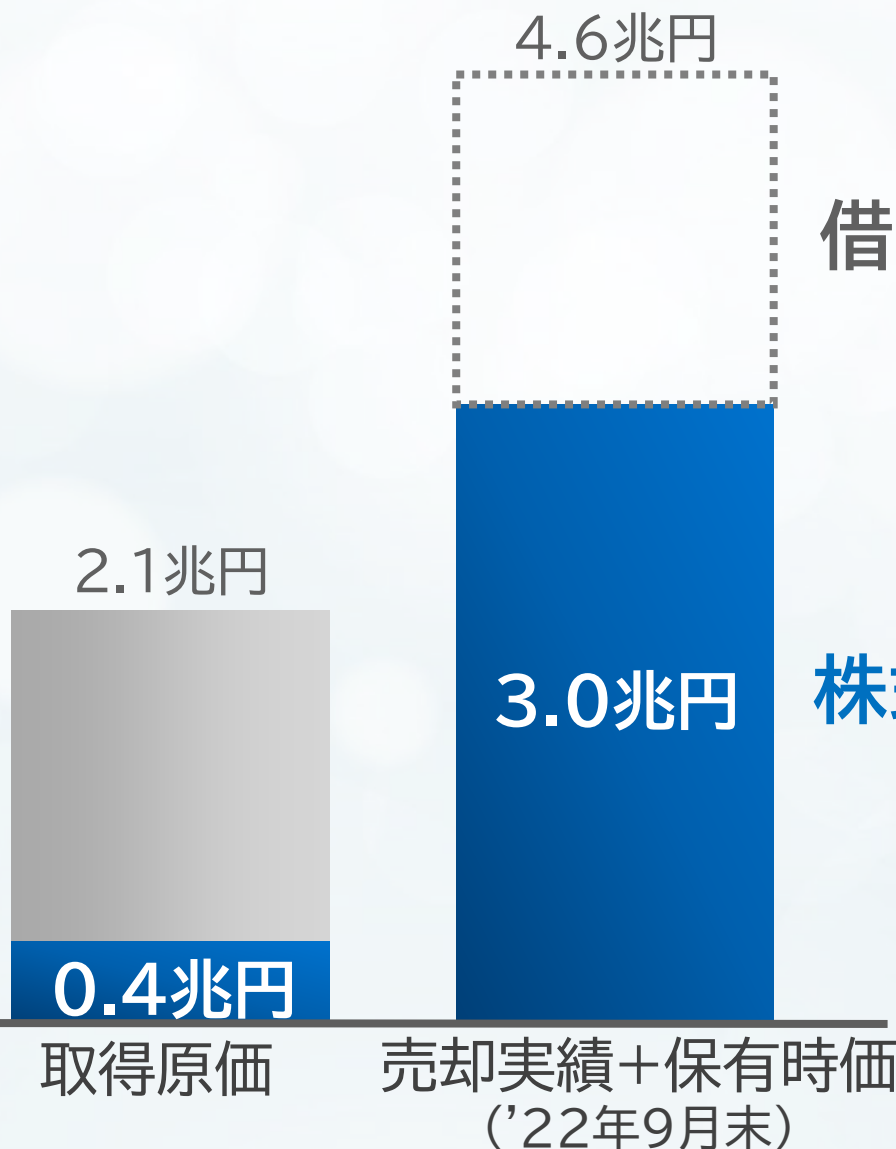
'13年7月11日



'22年9月30日



投資の実績 (スプリント、Tモバイル&ドイツテレコム)



借入(全額返済済み)

株式価値

IRR
25%

為替レート:各取引日のTTMLレートにより換算
 IRR:株式価値に係るIRR
 借入:日本円による買収時の調達額(1.65兆円)
 取得原価:付随費用を含まない
 '22年9月末の株式価値:以下、(a)~(d)の合計
 (a) 売却済のTモバイル株式の売却価額の総額 (\$22.5B)
 (b) 保有するTモバイル株式の価値 (\$5.4B):Tモバイル株の保有株式数に四半期末終値を乗じて算出。ただし2020年6月にTモバイルによる現金強制転換証券(Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities)を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加味
 (c) 保有するドイツテレコム株式の価値 (€3.9B):ドイツテレコム株の保有株式数に'22年9月末終値を乗じて算出
 (d) Tモバイル株式の条件付対価の価値 (\$5.5bn):Tモバイル普通株式の45日間の出来高加重平均価格が、'22年4月1日から'25年12月31日の期間に150米ドル以上となった場合に、SBGが無償で取得できるTモバイル株式(48,751,557株)の公正価値

財務戰略

財務戦略は不変

①財務方針の堅持

②あらゆる変化に
対応できる
柔軟かつ機動的な
財務運営

財務方針の堅持

1. 通常時 LTV25%未満 で運用（異常時でも上限35%）

2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3. SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

サステナビリティ

経営理念とサステナビリティ

情報革命で人々を幸せに

経営理念そのものに
サステナビリティへの想い

IT、AIへの投資を通じて
地球規模の課題解決に貢献



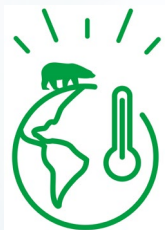
投資を通じた課題解決

様々な投資先が、気候変動、資源循環、生産性向上、教育や金融へのアクセスの改善など環境・社会課題の解決に取り組む



温室効果ガス削減にむけて

グループ目標



2030年度までにカーボンニュートラル達成

2021年度進捗

ソフトバンクグループ

カーボンニュートラル達成

アーム

自社使用電力の
98%再エネ化

ソフトバンク

基地局使用電力の
53.5%再エネ化

ヤフー

自社使用エネルギーの
59%再エネ化

多様性への取り組み

2021年度実績

ソフトバンクグループ



女性社員比率 **44%**

女性管理職比率 **22%**

ソフトバンク

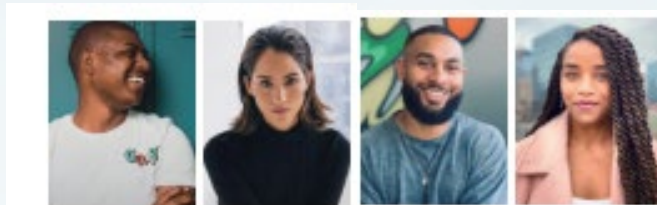
女性管理職比率 目標設定
2030年度までに **15%**
2035年度までに **20%**

SBオポチュニティファンド

米国の**マイノリティ**起業家への
投資実績**57件**
7,500万米ドル

SoftBank Group International

新規採用者
女性比率 **51%**
人種的マイノリティ比率 **55%**

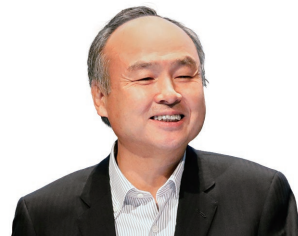


ガバナンスへの取り組み

さまざまな領域の知見を持つ多様性のある経営層

社外取締役比率 **56%**

社外取締役比率が
過半数の企業は **12%**



代表取締役
会長兼社長執行役員

孫 正義



取締役
専務執行役員
CFO 兼 CISO

後藤 芳光



取締役
ソフトバンク(株)
代表取締役会長

宮内 謙



取締役
Zホールディングス(株)
代表取締役社長
Co-CEO

川邊 健太郎



社外取締役
独立役員
三井物産(株)顧問

飯島 彰己



社外取締役
独立役員
東京大学大学院教授

松尾 豊



社外取締役
独立役員
(株)コーエーテクモ
ホールディングス
代表取締役会長

襟川 恵子



社外取締役
Morrison &
Foerster LLP
Board Director

ケン・シーゲル



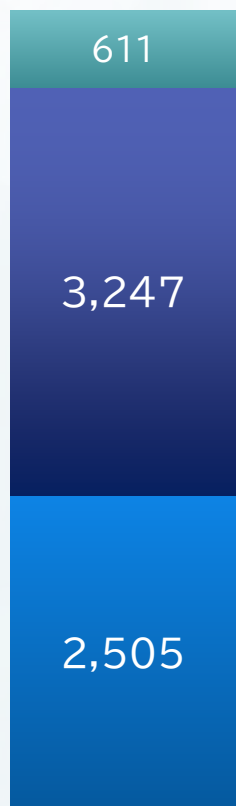
社外取締役
独立役員
DCM Ventures
Co-Founder and
General Partner

デビット・チャオ

連結ベースの法人所得税の支払額（純額）

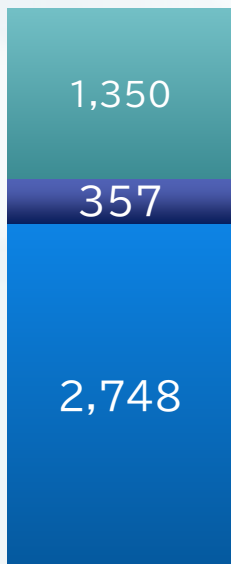
（億円）

6,363



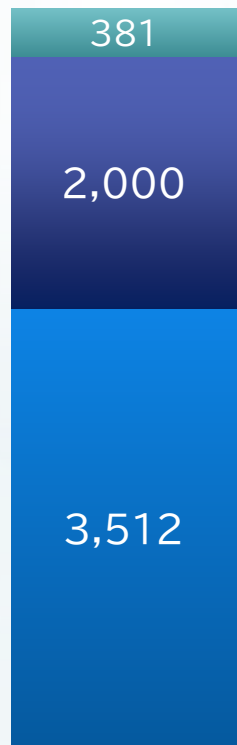
2019年度

4,455



2020年度

5,893



2021年度

海外子会社

SBG・国内持株会社

主にソフトバンク(株)、ヤフー(株)等の国内事業会社

SBG・100%子会社、事業会社それぞれが適切に納税

国内持株会社：ソフトバンクグループジャパン(株)等、持株会社投資事業セグメントに属し投資または資金調達を行う100%子会社
適切に納税：純粋持株会社であるSBG単体の営業収益の大半は子会社・関連会社からの受取配当金。子会社・関連会社はそれぞれの利益に対して法人所得税を納め、その残りの利益から配当金を支払う。そのため、その受取配当金の大部分は二重課税回避のためSBGでは課税の対象外

情報革命で人々を幸せに



Appendix

NAV・LTVの定義及び算出方法（'22年3月末時点）

1. NAV(Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式（保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後）

- Alibaba (アリババ): SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数に同証券の株価を乗じ、下記の(a)及び(b)を控除して算出
 - (a) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち、未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
 - (b) アリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額
- SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じ、同社株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除して算出
- SVF1: SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
- LatAm Funds: LatAm Fundsの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: 下記の(c)~(e)の合計から(f)~(h)を控除して算出
 - (c) SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じた価値(ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数('22年3月末時点:56,124,954株)を含む)
 - (d) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式(48,751,557株)を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
 - (e) '20年6月にTモバイルによる現金強制転換証券(Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities)を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
 - (f) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (g) Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額(Tモバイル株式を活用した借入(借入総額\$2.06bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$0.57bn)を控除した\$1.49bnをノンリコースのアセットバック・ファイナンスによる借入額としています。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該借入の担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている)
 - (h) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数に同社株価を乗じ、同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額を控除して算出
- Arm(アーム): SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づきSBG持分(発行済株式の75.01%)の公正価値から、SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除して算出
- その他: 下記の(i)~(k)の合計
 - (i) 上場株式: SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出
 - (j) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (k) SB Northstar(上場株投資): SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出

3. 純負債(アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: SBKK(Zホールディングス株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAm Funds、アーム、PayPay株式会社等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(l)~(v)の調整額の合計
 - (l) '16年9月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (m) '17年7月発行 ドル建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (n) '17年11月発行 円建てハイブリッドローン: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (o) '21年2月及び6月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (p) アリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除
 - (q) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (r) SBKK株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除
 - (s) Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額を控除(上記2.(g)参照)
 - (t) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (u) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (v) アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: '22年3月31日終値
- 為替: 1ドル = 122.39円

- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、SBKK = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、
- LatAm Funds = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法（'22年9月末時点）

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債
- ## 2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)
- Alibaba (アリババ): SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数に同証券の株価を乗じた金額から、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち、未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額を控除して算出
 - SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じ、同社株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額等を控除して算出
 - SVF1: SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
 - SVF2: SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
 - LatAm Funds: LatAm Fundsの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
 - Tモバイル: 下記の(a)~(c)の合計から(d)及び(e)を控除して算出
 - (a) SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じた価値(ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数('22年9月末時点: 34,971,809株)を含む)
 - (b) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式(48,751,557株)を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
 - (c) '20年6月にTモバイルによる現金強制転換証券(Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities)を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
 - (d) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (e) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
 - ドイツテレコム: SBGの保有株式数に同社株価を乗じ、同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額を控除して算出
 - Arm(アーム): SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づくSBG持分(発行済株式の75.01%)の公正価値から、SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除して算出
 - その他: 下記の(f)~(h)の合計
 - (f) 上場株式: SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出
 - (g) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (h) SB Northstar(上場株投資): SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出

3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: SBKK(Zホールディングス株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAm Funds、アーム、PayPay株式会社等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(i)~(q)の調整額の合計
 - (i) '16年9月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (j) '17年7月発行 ドル建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (k) '17年11月発行 円建てハイブリッドローン: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (l) '21年2月及び6月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (m) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (n) SBKK株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額等を控除
 - (o) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (p) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (q) アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: '22年9月30日終値
- 為替: 1ドル = 144.81円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、SBKK = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、
- LatAm Funds = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

SVF1 公開株投資先 ('22年9月末時点)

(\$M)		(a) 投資額 *1	(b) 時価 *2 (ダラ)	(c) = (b) - (a) 損益 (ダラ)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3
	Coupang	2,729	10,423	7,694	3.8x
	Doordash	680	6,993	6,313	10.3x
	全持分売却済 NVIDIA	2,878	5,813	2,936	2.0x
	全持分売却済 Guardant Health	308	2,665	2,358	8.7x
	全持分売却済 Uber	7,666	9,215	1,549	1.2x
	GoTo *4	841	1,666	824	2.0x
	全持分売却済 Slack	334	1,018	684	3.0x
	Delhivery	397	1,008	610	2.5x
	全持分売却済 Ping An Good Doctor	400	828	428	2.1x
	Opendoor	450	824	374	1.8x
	Relay Therapeutics	300	624	324	2.1x
	Policybazaar	199	517	318	2.6x
	全持分売却済 10x Genomics	31	338	307	10.9x
	Vir Biotechnology	199	451	252	2.3x
	Energy Vault	60	98	38	1.6x
	Zomato	309	220	-89	0.7x
	OneConnect	100	6	-94	0.1x
	全持分売却済 ZhongAn	550	400	-150	0.7x
	Aurora Innovation	333	87	-246	0.3x
	Zymergen	404	74	-330	0.2x
	Full Truck Alliance	1,700	1,301	-399	0.8x
	Auto1	741	341	-400	0.5x
	SenseTime	1,429	964	-465	0.7x
	Paytm	1,600	1,113	-487	0.7x
	Roivant *5	919	320	-599	0.3x
	Compass	1,082	307	-775	0.3x
	View	1,175	89	-1,087	0.1x
	Grab	2,993	1,839	-1,154	0.6x
	WeWork *6	3,468	242	-3,227	0.1x
	DiDi	12,073	1,779	-10,294	0.1x
(A)	公開株式 合計 (ダラ)*7	\$46,349 (6.7兆円)	\$51,562 (7.5兆円)	\$5,213 (+0.8兆円)	1.1x
(B)	未公開株式等	41,169	49,519	8,350	
(A)+(B)	SVF1 合計(SBG目録)	\$87,518	\$101,081	\$13,563	

1. 投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料(純額)の合計

2. 時価(ダラ): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'22年9月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。

3. 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(ダラ)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

4. GoTo: SVF1の公開株の投資額には、Gojekとの合併前のTokopediaへの投資を反映しており、GoTo上場前に実現した\$7mmが除かれています。

5. Roivant: SVF1の公開株の投資額からはRoivantの上場前('20年3月)に実現した\$116mmが除かれています。

6. WeWork: SVF1の公開株の投資額(\$3,468mm)には、WeWork Asia Holding Company B.V.("WeWork Asia")への投資額(\$400mm)が含まれています。WeWork Asia株式は1株当たり\$11.60で'20年4月にWeWork優先株式に交換されました。

7. 公開株式 合計(ダラ): 公開株式には店頭市場で取引されているDiDiへの投資を含みます。

SBG目録: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない。

累計投資パフォーマンスを純額で表示。

SVF1に対するSBGからの累計支払額(純額)(Net-Paid-in capital) = \$27.7bn。SBGに帰属する価値合計(Total Value) = \$30.3bn。詳細は「2022年9月期 Investor Briefing SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照。

各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているため
内訳の計と合計が一致しない場合があります。
1ドル = 144.81円('22年9月30日TTM)で換算

SVF2 公開株投資先 ('22年9月末時点)

(\$M)	(a) 投資額 ^{*1}	(b) 時価 ^{*2} (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 ^{*3}	
全持分売却済					
Beike (KE Holdings)	1,350	2,497	1147	1.8x	
Symbotic	200	230	30	1.2x	
Berkshire Grey	115	111	-4	1.0x	
Qualtrics	24	8	-16	0.3x	
Pear Therapeutics	46	25	-21	0.5x	
IonQ	61	31	-30	0.5x	
AInnovation	126	95	-31	0.8x	
Full Truck Alliance	250	152	-98	0.6x	
Zhangmen	105	0.2	-105	0.002x	
Exscientia	284	156	-129	0.5x	
Seer	205	40	-165	0.2x	
Dingdong	325	50	-275	0.2x	
JD Logistics	601	205	-396	0.3x	
AutoStore	2,800	1,450	-1350	0.5x	
WeWork	2,545	981	-1564	0.4x	
(A)	公開株式 合計 (グロス)^{*4}	\$9,036	\$6,031	-\$3,005	0.7x
		(1.3兆円)	(0.9兆円)	(-0.4兆円)	
(B)	未公開株式等	40,751	29,188	-11,563	
(A)+(B)	SVF2 合計(SBG目線)	\$49,787	\$35,219	-\$14,568	

1. 投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料(純額)の合計

2. 時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'22年9月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。

3. 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

4. 公開株式 合計(グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているZhangmenへの投資を含みます。

SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。累計投資パフォーマンスを純額で表示。

SVF2に対するSBGからの累計支払額(純額)(Net-Paid-in capital) = \$48.2bn、SBGに帰属する価値合計(Total Value) = \$35.0bn。詳細は「2022年9月期 Investor Briefing SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照。

各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているため
内訳の計と合計が一致しない場合があります。
1ドル= 144.81円('22年9月30日TTM)で換算